

Revised Edition

ILLUSTRATED ENCYCLOPEDIA
OF
THE FAUNA OF JAPAN
(Exclusive of Insects)

改訂增補
日本動物圖鑑

原簿番號 2848

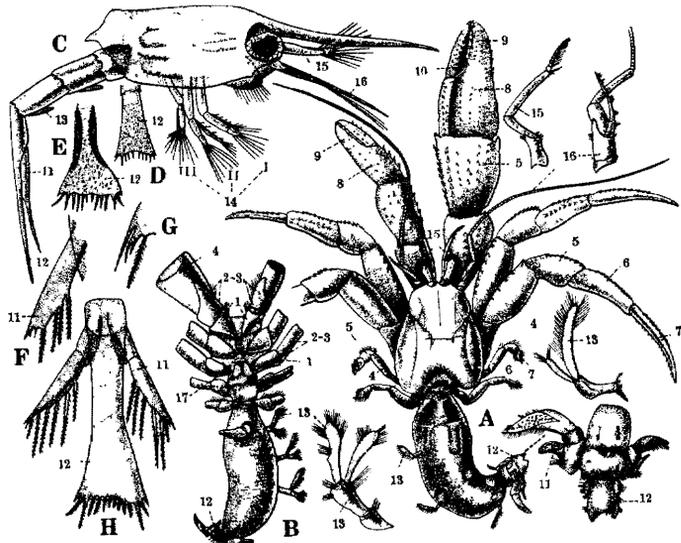
1947



北隆館

THE HOKURYUKAN CO., LTD., TOKYO

- 1 底節 Coxa
- 2~3 原節 Protopodus, 即ち基節 Basis と坐節 Ischium とノ融合ヲ示ス
- 4 長節 Merus
- 5 腕節 Carpus (Wrist)
- 6 前節 Propodus
- 7 指節 Dactylus
- 8 掌節 Palm
- 9 不動指 Immovable finger
- 10 可動指 Movable finger
- 11 尾脚 Uropod
- 12 尾節 Telson
- 13 腹肢 Pleopod
- 14 顎 Moxilliped
- 15 第一觸角 1st antenna (Antennule)
- 16 第二觸角 2nd antenna (Antenna)
- 17 雌性生殖孔 Female genital pore



ヤドカリ類ノ體制及び發生模式圖 Eupagurus bernhardus (Linne)

A 雄ノ背面外觀 B 雌ノ腹面(胸部先端部ヲ除ク) C 第四期ぞえあ幼生
 D 第三期ぞえあノ尾脚 E 第二期ぞえあノ尾節 F 第三期ぞえあノ尾脚
 G 第四期ぞえあノ尾脚先端部 H 第四期ぞえあノ尾節

歪尾亞目(或ハ異尾亞目)ハ長尾亞目ト短尾亞目トノ中間動物ニシテヤドカリ・たらばかに・がらあ・すなほりに等ヲ包括ス。茲ニ歪尾亞目ノ代表トシテヤドカリ類ニ就キ概説セントス。

形態 體ハ頭胸部ト腹部ニ區別サレ、前者ハ13節、後者ハ6節ヨリ成ル。頭胸部ノ背面(甲背)ハ石灰化セル堅キ甲殻ニテ覆ハレ、其ノ中央部ヲ走ル頸溝ノ前部ヲ頭域、後部ヲ胸域ト稱ス。胸域ノ中央ニ心域、側方ニ鰓域ノ區別アリ。腹部ノ末節即チ第十九體節ハ尾節ト稱シ、附屬肢ヲ有シ、屢々左右不相稱ナリ。附屬肢ハ各體節ニ1對附屬シ夫々異レル形態・作用ヲ有ス。腹部ノ體節ト附屬肢トノ關係ヲ Eupagurus bernhardus (Linne)ニツキ表記セバ第一表ノ如シ。鰓ヲ其ノ構造上ヨリ分類スレバヤドカリもどき科ニ於テハ毛狀鰓、ヤドカリ科ニ於テハ葉狀鰓ヲ有ス。胸部ノ體節ト一定ノ關係アル鰓ハ其ノ起源及ビ位置ニヨリテ分類シ、此ノ關係ヲ鰓式ニテ示スヲ得。Eupagurus bernhardus ニ於テハ脚鰓ナク、側鰓ト關節鰓ヨリ成リ、鰓式ニテ示セバ第二表ノ如シ。

第一表

腹體節	左側(雄)	右側	左側(雌)	右側
XIV	ナ	シ	ナ	シ
XV	ナ	シ	ナ	シ
XVI	第一腹肢	ナ	第二腹肢	ナ
XVII	第二腹肢	ナ	第三腹肢	ナ
XVIII	第三腹肢	ナ	第四腹肢	ナ
XIX	尾	脚	尾	脚

第二表

胸體節	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII
關節鰓	0	0	2	2	2	2	2	2
側鰓	0	0	0	0	0	0	1	0

發生 ヤドカリ類ハ放卵後短尾類ノ如クぞえあ(Zoea)期幼生トナリ、主ニ浮游性硅藻ヲ食シ、數回ノ脱皮ヲ經テぐらうことえ(Glaucothoe)期幼生トナリ、短尾類ノめがろび期幼生ニ相當ス。コノ幼生ハ底部ニ沈澱セル硅藻・有機性殘滓ヲ攝食シ、1~2回ノ脱皮ヲ經テ成體トナル。

生態 ヤドカリハ其ノ體ヲ挿入スベキ適當ナル穴或ハ介殻ヲ選擇ナシ。體ノ生長ニ從ツテ轉居ヲナス。介殻外敵ニ對スル防護ノ他ニ乾燥・光・熱ニ對シテ保護作用ヲナシ。海棲ノモノニアリテハ水中ニ於ケル呼吸作用ニ重要ナル役割ヲナス。

介殻ノ内外側或ハ内部ニハ屢々ごかい、Pomatoceros 等ノ環蟲類・海綿・いそぎんちやく・かにだまし等共棲シ、Eupagurus ノ腹部ニハ Hydroactinia ノ群體ニテ覆ハルル事アリ。又ヤドカリノ腹部ニハ寄生性蔓脚類 Peltogaster ノ寄生ヲウケ所謂寄生去勢ヲナスモノアリ。〔三宅〕

第 2115 圖



十脚目 歪尾亜目

ガラテア科

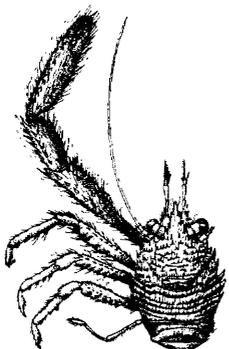
とうやうがらてあ

Galathea orientalis Stimpson

本種ノ額角ハ頂端ガ三角ニシテ、其ノ兩側ニ各3個ノ齒ヲ具ヘ尙次ノ眼上棘モ顯著ナリ。頭胸甲ノ側縁ニハ8個ノ齒ヲ具ヘ、甲面上ニハ胃域ニ1對ノ小棘アルノミニシテ他ニ棘ナク、横皺ノミ顯著ニ見エ。腹體部ノ各節ニハ横皺ノミアリテ棘ナシ。鉗脚ハ太ク長ク體長ヨリモ遙カニ長ク、長節・腕節及ビ前節ノ内外側面ニ棘列ヲ有シ、表面ニモ多數ノ棘アリ。掌部ハ指部ヨリモ長シ。又第二脚ヨリ第四脚マデ各脚ノ長節ハ鋸齒縁ヲ有ス。第五脚ハがらてあ科ノ特徴トシテ短縮ス。雌ノ鉗脚ハ雄ノ夫ヨリハ短シ。體長9mm、鉗脚全長15mm、小形ナリ。陸奥灣・富山灣・朝鮮海峽・瀬戸内海・相模以南ノ太平洋沿岸・琉球・小笠原等ニ分布ス。本屬ニ含マル本邦産ノ種ハ凡ソ13種ニシテ、淺海或ハ珊瑚礁ニ棲息ス。

〔中澤〕

第 2116 圖



十脚目 歪尾亜目

ガラテア科

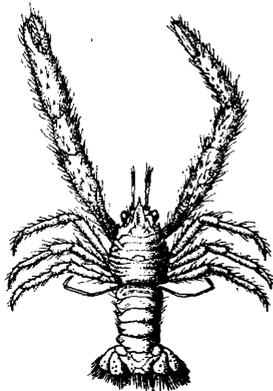
けぶかがらてあ

Galathea pebescens Stimpson

頭胸甲ハ規則正シク彎曲シ、前方ニ稍狭マリ、甲背ニハ多數ノ横皺アリテ其ノ前縁ニハ短毛及ビ長毛密生シ、胃域ニ6-10棘、前鰓域ニ6-8棘アリ、側縁ニハ前節ト同ジク凡ソ8棘ヲ具フ。額角ノ兩側ニ4銳齒、第一觸角基節ノ外側縁ニ2小棘、第三顎脚長節ノ内縁ニ3棘、外縁ニ2棘アリ。鉗脚ハ長ク圓柱狀ヲナシ、表面ニ散在セル棘ハ前節ヨリモ多ク、指部ハ稍扁平ニシテ、掌節ヨリモ短ク、咬合面ニハ間隙ナシ。歩脚ハ長毛密生シ、長節前縁ニハ7-8棘アリ。指節ハ前節ノ略 $\frac{1}{2}$ ノ長サヲ有ス。腹部各節ニハ4條ノ横溝アリ殊ニ中央ノ溝ハ最も深シ。生時ハ淡紅色ニ暗赤色ノ斑點ヲ有シ、正中線ニハ白色ノ綫ヲツケル。甲長(額角ヲ含ム)10mm。函館・浦賀水道・三崎・相模灘・室戸崎・奄美大島ニ産ス。

〔三宅〕

第 2117 圖



十脚目 歪尾亜目

ガラテア科

とげなしがらてあ

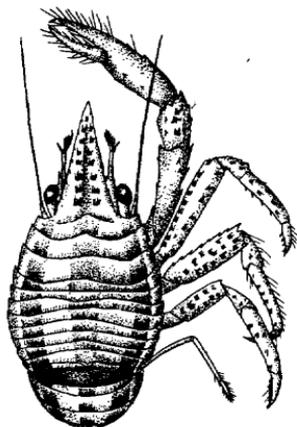
Galathea integra Benedict

額角ハ稍幅廣ク兩側ニハ棘ナク、先端鋭ク突出ス。額角ノ基部即チ眼窩内縁ニ1棘、後縁ニ2棘アリ。頭胸甲側縁ニ6-7棘アリ。胃域ニハ4小棘ヲ具ヘ、甲背ノ横皺ハ前2種ヨリモ少シ。第三顎脚長節ノ内縁ニハ1棘アリ、外縁ハ先端伸長シテ棘トナル。鉗脚ハ長クシテ長毛ニテ蔽ハル。長節表面ニハ小棘粗生シ、腕節背面ニハ4個ノ小棘1列ニ並ビ、内縁ニハ5-6棘アリ、掌節表面ニハ3條ノ棘列ヲ具フ。指部ハ掌節ヨリモ短ク、咬合面ニハナル間隙アリ。不動指ノ内縁基部ニ1小齒アリ。歩脚ハ長毛粗生シ、長節・腕節ノ前縁ニハ數個ノ棘アリ、前節後縁ニ3-4小棘アリ。甲長7.5mm。津輕海峽・青森灣・大吹岬・浦賀水道・三崎・相模灘・御前崎・鹿兒島・種子島・平戸・能登・牡鹿半島沖ニ産ス。水深70-300m。〔三宅〕

こまちがらてあ

Galathea elegans White

額角ハ顔ル長ク略々頭胸甲長ニ等シク、側縁ニハ肉
眼ニテ認メ難キ小棘5~12個ヲ具ヘ、背面ニ長毛密
布セリ。頭胸甲側縁ニハ凡ソ10棘アリ。第一觸角基
節ニ3棘、第二觸角ノ基節内縁ニ1棘、外縁ニ2棘
アリ。第三頸脚長節ノ内縁ニハ普通2棘アレドモ
屢々1~2個ノ副棘ヲ具フルモノアリ外縁ニハ3~4
個ノ缺刻ヲ生ズ。鉗脚ハ左右略々相等シク甲長ノ
1.5倍ヨリ稍長ク、多數ノ横皺アリ。長節内縁ニ2
棘、外縁先端ニ近ク1棘アリ。腕節ハ内縁ニ數個ノ
棘アリ、外縁ニ近ク1棘アリ。掌節ハ扁平ニシテ、
指部先端ニハ各2~3棘ヲ具フ。甲長12mm。こま
ち *Comanthus* ニ附着共棲ス。甲背ハ黃褐色ヲ呈シ、
赤褐色ノ縦綫2~3條アリ、其ノ橋様ニハ個體ニ
ヨリ可ナリ變異アリ。本邦ニ於テハ三崎・相模灣・
潮岬・天草富岡・南洋ばらおニ産ス。〔三宅〕



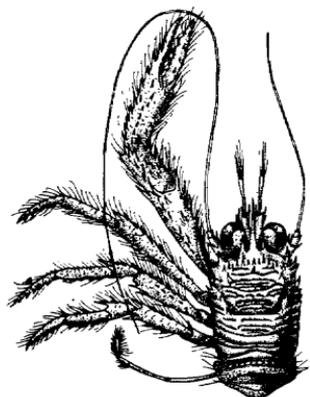
十脚目 歪尾亞目
ガラテア科

やまとむにだ

Munida japonica Stimpson

本種ハ體長80mmニ達シ、鉗脚ハ夫ヨリモ長ク生
長スル種類ニシテ、額角ハ左右ニ側扁シテ棘狀ヲ呈
シ、又側齒ナキコト眼上棘ノ良ク發達セルコトニヨ
リテ *Munida* 屬ハ *Galathea* 屬ト區別セラレ。額角
ハ第一觸角柄末端マデ達シ、眼上棘ハ眼ノ中程ニテ
終ル。頭胸甲側縁ニハ7棘アリ、又額角ノ後方ニ凡
ソ12個ノ小棘1列ニ竝ビ、胃域ノ正中ニ1個ト兩側
1對ノ棘アリ。尙前鰓域ニ1棘アリ。腹部第一・第
二・第三體節ニハ溝縁ノ棘1列ニ並ブ。鉗脚ハ體長
ヨリモ長ク、細カキ棘狀突起トモヲ具ヘ、第二脚ヨ
リ第四脚マデハ略々同長ニテ各節ノ背側ニ長毛密生
ス。津輕海峡以南・臺灣高雄ニ至ル各地ニ産ス。水
深30~600m。尙本邦産ニシテ本屬ニ含マル種ハ
5種ヲ數ヘ、何レモ稍深キ海底ニ棲息ス。

〔中澤〕(三宅追記)

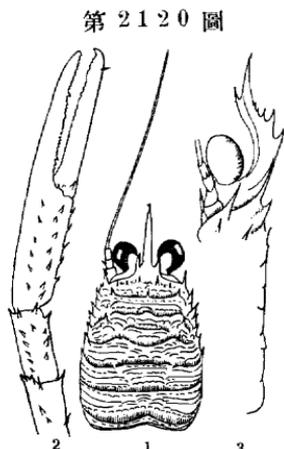


十脚目 歪尾亞目
ガラテア科

つのがむにだ

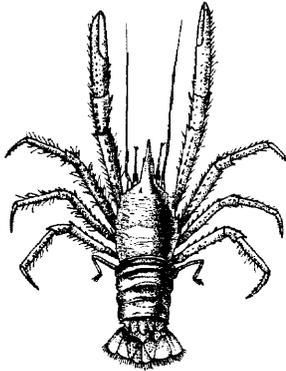
Cervimunida princeps Benedict

額角ハ之ヲ背面ヨリ見レバ單ナル長棘ナレドモ、(3)
ノ如ク之ヲ側面ヨリ觀察スレバ可ナリ彎曲シ、上縁
ニ數棘、下縁ニ1棘アリ。眼上棘ハ斜上方ニ突出シ
眼球ノ中央部ニ至リ、眼窩後縁ニハ略々同大ノ1棘
アリ。甲背ハ短毛密生セル多數ノ横皺ニテ蔽ハレ、
胃域ノ前半部ニ7棘、前鰓域ニハ頸溝ニ近ク2棘ア
リ。前側縁ニハ凡ソ6棘アリ。鉗脚ハ甲長ノ2倍ヨ
リモ長ク多數ノ棘ニテ蔽ハレ、指部ハ長ク掌節ヨ
リモ稍長シ。歩脚ハ鉗脚ト同様ニ多クノ棘アリ、長節
前縁ニハ長毛列生ス。甲長45mmニ達シ、金華山・
犬吠岬・相模灣・下田・遠州灘・熊野灘・紀州瀬戸
沖・土佐灣・豊後水道・佐渡・山形縣沖ニ産ス。
〔圖解〕1 頭胸甲ノ背面圖。2 左鉗ノ背面圖。3 頭
胸甲ノ側面圖。〔三宅〕



十脚目 歪尾亞目
ガラテア科

第 2121 圖

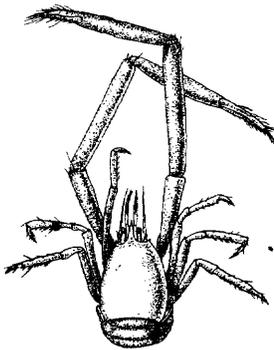


とげいつかくむにだ

Munidopsis trifida Henderson

頭胸甲背面ニハ短キ横皺散在シ、胃域ニ2棘ヲ具ヘ、額角ハ甲長ノ略 $\frac{1}{2}$ ノ長サヲ有シ、楔形ヲ呈シ、先端近クニハ兩側ニ各1小棘ヲ具フ。眼窩後縁ニ1棘アリ、頭胸甲側縁ニハ4棘アリ。腹部ニハ棘ヲ有セス。第三顎脚ノ長節内縁ニ2棘、外縁ニ1小棘アリ。鉗脚ハ雌雄トモニ體長ヨリモ長ク、長節ニハ3條ノ棘列アリ、末端縁(腕節トノ關節)ニハ比較的大ナル4棘ヲ具ヘ、腕節ニハ2條ノ棘列及ビ其ノ末端縁ニハ3棘アリ。掌節ノ上縁ニ1棘アリ。歩脚ノ長節・腕節ニハ前縁ニ數個ノ棘ヲ有シ、指節ハ前節ノ略 $\frac{1}{2}$ ニシテ後縁ニ數個ノ小棘アリ。體長40mm、甲長23mm。本邦ニ於テハ相模灣・駿河灣ニ産ス水深280~1160m。〔三宅〕

第 2122 圖

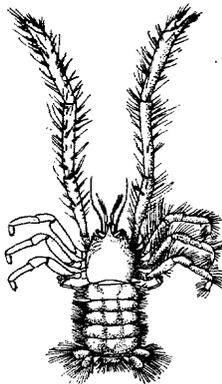


てながえびもどき

Urotychus australis Henderson
var. *indicus* Alcock

甲長ハ甲幅ヨリモ大キク甲背ハ平滑ニシテ光澤ヲ有シ、側縁ニハ棘ナシ。額角ハ細長キ三角形ヲ呈シ先端ハ鋭ク尖レリ。眼窩後縁ニ短キ2齒ヲ具フ。第三顎脚長節ニハ棘ヲ有セス。鉗脚ハ頗ル長ク甲長(額角ヲ含ム)ノ3.5~4倍アリ、指節ノ先端ニ近ク絹絲狀ノ長毛叢生ス。長節ハ短ク腕節ノ略 $\frac{1}{2}$ 、掌節ハ可ナリ長ク指節ノ2倍ヨリモ僅ニ短シ、指節咬合面ノ基部ニハ幅廣キ1齒アリ。歩脚ハ鉗脚ノ略 $\frac{1}{2}$ ノ長サヲ有シ、指節及ビ前節ノ先端ノ近クニハ絹毛狀ノ長毛叢生シ、前節ノ後縁ニハ5及ビ6個ノ細棘。指節ノ後縁ニ數個ノ小棘アリ。胸部腹甲第一節ノ前縁中央ニ1對ノ棘ヲ具ヘ、第二節ノ側縁ニハ多數ノ缺刻ヲ生ズ。甲長(額角ヲ含ム)11mm、甲幅7.5mm。相模灣・大王崎・八重山・小笠原ニ産ス。〔三宅〕

第 2123 圖



とげえびもどき

Urotychus scandens Benedict

甲幅ハ甲長(額角ヲ除ク)ヨリモ大ニシテ、甲背ハ可ナリ扁平ニシテ光澤アレドモ、前側縁ノ近クハ多數ノ棘及ビ短毛ニテ蔽ハル。額角ハ長ク、眼窩後縁ハ僅カニ突起シ、稍大ナル棘ヲ具フ。鉗脚ハ比較的内細ク、多クノ絹絲狀ノ長毛着生セリ。可動指ノ内縁基部ニ1齒アリ。歩脚ハ鉗脚ニ比シ稍太ク、鉗脚ト同様ノ長毛密生ス。指節ハ幅廣ク且短クシテ、先端及ビ後縁ニ棘ヲ有ス。胸部腹甲第一節即チ第三顎脚腕節ノ接スル節ノ前縁ノ缺刻ハ前種ヨリモ幅廣クU字形ヲ呈シ、中央ニ2棘ヲ具フ。各節ノ境界ハ前種ノ如ク明ラカナル溝ヲ有セス。腹部ハ平滑ニシテ側縁及ビ後縁ニ長毛列生ス。甲長(額角ヲ除ク)5.5mm、甲幅6.5mm。小湊沖・城ヶ島・相模灣・大王崎・豊後水道・太平洋ニ産ス。水深110~393m。〔三宅〕

十脚目 歪尾亞目 ガラテア科

十脚目 歪尾亞目 えびもどき科

十脚目 歪尾亞目 えびもどき科

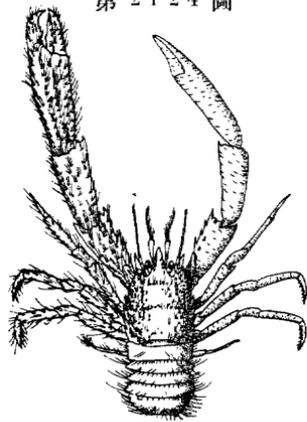
やまとえびもどき

Uroptychus granulatus Benedict
var. *japonicus* Balss

甲長(額角ヲ除ク)ハ甲幅ヨリモ稍大ニシテ、甲側縁ハ僅ニ張出セリ。甲背ニハ多數ノ顆粒狀突起及ビ短毛散在シ、殊ニ前側部ノ數個ノ突起ハ發達シテ棘トナル。額角ノ基部ハ幅廣ク先端鋭ク、背面ニ窪ミヲ生ジ縱溝ヲ呈ス。眼窩後縁ハ鋭ク突出シ、内側ニ1齒アリ。甲側縁ニハ8~9齒アリ、後縁ハ内方ニ彎曲シ棘ヲ有セズ。鉗脚ハ甲長ノ略ト3.5倍アリ、鞏固ニシテ、表面ニハ顆粒狀突起及ビ其ノ前縁ニ着セル長毛密布セリ。長節内縁ノ突起ハ發達シテ棘トナル。腕節ノ先端内側ニ1齒アリ。掌節ハ先端ニ太ク腕節或ハ長節ヨリモ長シ。步脚ハ鉗脚ト同ジ顆粒狀突起及ビ長毛密生シ、指節内縁ニ小棘アリ。甲長(額角ヲ含ム)14.5mm。東京灣・相模灣ニ産ス。

〔三宅〕

第 2124 圖



十脚目 歪尾亞目
えびもどき科

たてじまえびもどき

Uroptychus grandirostris Yokoya

甲幅ハ甲長ヨリモ稍長ク、額角ハ著シク大ニシテ甲長ヨリモ稍大ナリ。甲背ハ左右ニ彎曲シ、胃域及ビ心域ハ可ナリ隆起シ、頸溝深クシテ兩域ヲ區別セリ。尙甲背ニハ顆粒及ビ短毛密布ス。額角前半ハ稍下方ニ傾キ、背面ニ縱溝アリ、其ノ側縁ニハ微細ナル棘列ヲ具フ。眼窩後縁ニハ鋭齒アリ、甲側縁ハ前方ニ狹マリ、凡ソ6個ノ鋭齒ハ水平ニ突出シ、尙前側縁ニハ2及ビ3棘アリ。鉗脚ハ大キク、左右不同ニシテ大鉗ハ甲長(額角ヲ除ク)ノ6倍ヨリモ長ク、表面ニハ鋭棘密布セリ。長節ニハ3條ノ棘列アリ、指節咬合面ノ基部ニ1齒ヲ具フ。步脚ノ長節前縁ニ數個ノ棘ヲ有ス。甲背及ビ腹部ニハ赤褐色ノ顯著ナル縱溝ヲ有ス。甲長(額角ヲ含ム)10mm。大王崎・潮岬・田邊・室戸崎・佐多岬・長崎・五島沖ニ産ス。水深165~223m。〔三宅〕

第 2125 圖



十脚目 歪尾亞目
えびもどき科

つのおびもどき

Eumunida dofleini Gordon

頭胸甲背面ハ兩側ニ彎曲シ、多數ノ横皺アリ。額角ハ細ク長ク突出シ、頭胸甲長ノ $\frac{1}{2}$ ヨリモ稍長シ。額角ノ兩側ニハ各2對ノ眼上棘ヲ具ヘ、前鰓域ニ3棘、甲側縁ニ6齒アリ。第三頸脚ノ長節ニハ棘ナク或ハ退化セリ。鉗脚ハ細ク且長クシテ、座節ノ先端内側ニ1棘、長節ニ4條ノ棘列アリ。腕節ハ短ク、背側ニ2條ノ棘列アリ、且先端ニ近ク3棘ヲ具フ。掌節ハ指節ヨリモ長ク、2條ノ棘列アリ。第一歩脚ノ前縁先端ニ1小棘アレドモ、他ハ無棘ナリ。胸部腹甲ノ第二節即チ鉗脚ノ附屬セル節(3参照)ノ前側縁ニハ棘ヲ有セズ。甲長40mm。相模灣・下田・五島沖ニ産ス。水深137~600m。本邦産ニシテ本屬ニ含マルモノ尙2種アリ。〔圖解〕 1 頭胸甲背面。 2 胸部腹甲。 3 鉗腹面。〔三宅〕

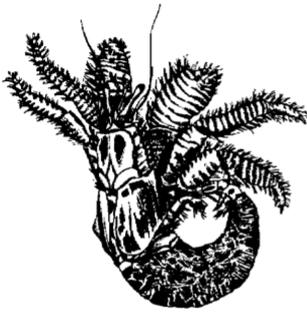
第 2126 圖



十脚目 歪尾亞目
えびもどき科

第 2127 圖

十脚目 歪尾亞目 やどかり科



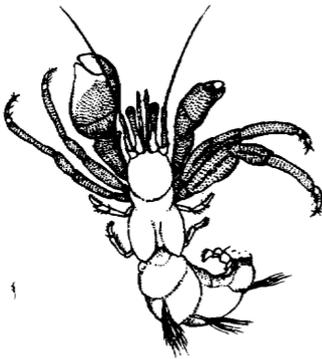
おにやどかり

Aniculus aniculus (Fabricius)

鉗脚ハ左右同大ニシテ鉗部短キコト。額角ハ三角形ニシテ明瞭ナルコト、鉗脚及ビ2對ノ步脚ノ各節ハ横條ノ輪環ニ彫刻サレ各輪環ノ外縁ニ毛ノ列生ヲ見ルコトハ *Aniculus* 屬ノ特徴ニシテ、本種ニアリテハ頭胸甲及ビ脚輪環ニ列生セル毛ガ黃褐色ニシテ長シ。眼柄ハ第一觸角柄ト長サ相同ジ。鉗脚ハ頭胸甲ノ約1倍ト長クシテ、長節内面ニ粒狀縁ヲ有スルヲ延セバ鉗脚ヲ越エ、其ノ指節ハ前節ト同長又ハ僅カニ短シ。第四脚ハ各節扁平ナレド第五脚ハ各節丸卷ク共ニ長キ毛ヲ有ス。腹部ハ良ク發達シ螺旋狀ニシキ第二ヨリ第五ニ至ル腹肢ハ雄ニテハ内肢退化シシ痕跡的ナリ。外肢ハ小葉狀ヲナス。色彩ハ頭胸甲及ビ脚ガ赤褐色ト黄色ノ黃鱗ヲ以テ彩ラントリ。甲長48mm。三崎・下田ヨリ臺灣ニ至ル太平洋及ビ富山灣ニ産ス〔中澤〕(三宅追記)

第 2128 圖

十脚目 歪尾亞目 やどかり科



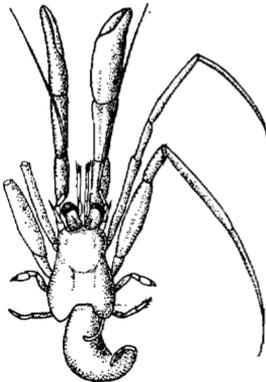
すべすべやどかり

Calcinus laevimanus (Randall)

頭胸甲ハ鉗脚及ビ步脚ニ比シテ石灰化薄ク、額角ハ明瞭ナリ。眼柄強硬ニシテ、幾分曲レル觀ヲ呈ス。眼節ノ甲片ハ小サク八字形ヲ畫ク。鉗脚左右不同ニシテ左鉗大キ。其ノ表面ハ甲殼固ク平滑ニシテ長節ハ三角形、腕節ハ其ノ背面ニ深キ溝ヲ有シテ長節ノ關節縁ヲ滑カニ動かスニ便ス。前節ノ掌部ハ略ト四角形ヲ呈シ、幅廣ニシテ其ノ末端ガ廣ク延ビテ短キ指トナリ、指節ハ同様幅廣ク、前者ト良ク咬合ス。第二・第三脚モ鉗脚ト同様平滑無毛ニシテ只僅ニ指節ノ末端ニ2及ビ3ノ短毛束發生スルノミ。色彩ハ生時ニ於テハ頭胸甲青灰色、第一觸角ハ鮮カナル赤色、第二觸角及ビ眼ハ青色ヲ呈ス。鉗脚ハ紫黑色ニテ彩ラレ先端ハ白色ヲ呈ス。甲長9mm。奄美大島・琉球・臺灣・小笠原其ノ他ノ南海ニ産ス本邦産本屬ノ既知種ハ4種アリテ、淺海・珊瑚礁ニ棲息ス。〔中澤〕(三宅追記)

第 2129 圖

十脚目 歪尾亞目 やどかり科



ほそうてやどかり

Catapagurus japonicus Yokoya

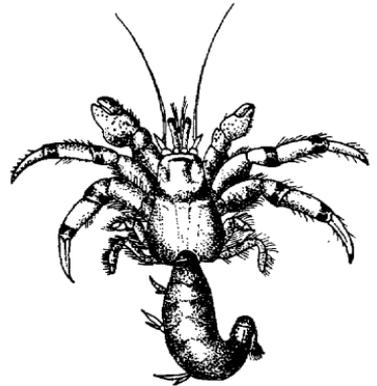
頭部ノ幅ハ長サニ略ト等シク、前側線ハ張出シ、額角先端ハ鋭ク其ノ兩側縁ヲ僅カニ越エテ突出ス。眼柄ハ太ク短ク、眼體節鱗ハ細ク尖レリ。第一觸角ノ第二節先端ハ眼ヲ僅ニ越エ、第三節ハ第一節ト第二節トヲ合ハセタルモノニ略ト等シ。第二觸角ノ第二節ノ先端ハ殆ド眼ニ達スレドモ、第二觸角鱗ノ先端ヨリモ短シ。鉗脚ノ長サハ左右略ト相等シク、腕節ノ背面ニハ2條ノ溝ヲ有シ、鉗ハ平滑ナリ。小鉗ノ指節ハ頗ル長ク、掌節ノ凡ソ1.5倍アリ、然ルニ大鉗ノ指節ハ短クシテ、掌節ノ1/2ヨリモ僅ニ長シ。第二・第三脚ハ頗ル長ク、第二脚ハ第三脚ヨリモ短ク、其ノ指節ハ前節ヨリモ長シ。甲長5mm。下田以南ノ太平洋沿岸・九州西海岸ノ各地ニ分布ス。水深100~180m。〔三宅〕

ふたすちよこばさみ

Clibanarius bimaculatus (de Haan)

甲長ハ甲幅ノ凡ソ1.5倍アリ、肝域・心域ニ點刻アリ、尙肝域・頭胸溝後縁・胸脚ハ黃色ノ長剛毛ニテ蔽ハル。眼柄ハ第二觸角柄ヨリ長ク、第一觸角柄ト相等シ。鉗脚ハ短クシテ缺ハ水平ニ開閉シ爪黒シ。掌節ハ幅廣ク背面ニ棘狀突起、腹面ニ黒褐色ノ小顆粒アリ。腕節背面ニ棘ヲ有シ、掌節外縁ニハ横皺、腹面ノ先端ニ棘狀突起アリ。第二・第三胸脚ハ鉗脚ヨリモ長ク、各節ニ點刻アリ。腹部ノ第二〜第五節ノ左側ニハ又狀ノ腹肢アリ。生時甲殻ハ暗綠色ニシテ前半ハ灰色、鰓部ハ帯紅色ナリ。腹部ハ暗綠色ナルモ側面及ビ腹面ハ紅色ナリ。第一觸角鞭ハ紅色、第二觸角鞭ハ帯綠色ヲ呈ス。胸部先端部ニ2條ノ黃帶アリ。甲長13mm。東京灣・相模灣・長崎・鹿児島・琉球・臺灣ノ淺海ニ産ス。(三宅)

第 2130 圖



十脚目 歪尾亜目 やどかり科

とげつこのやどかり

Diogenes edwardsii (de Haan)

頭胸甲前部及ビ心臓部ハ可ナリニ石灰化シ、額角ハ眼柄基節縮狀突起ニテ置換サレタルコト、左右鉗不同ニシテ左ハ遙カニ大ナルコト、腹肢ハ尾脚ヲ除キテ5個左側ノミ存スルコト等ヲ以テ *Diogenes* 屬ノ特徴トシ、本種ニアリテハ頭胸甲中央部ノ背面兩側ニ横皺アリ、前縁ハ額角鈍狀ニ突起シ、眼節ノ兩側ニ於テ棘ヲ出シ前側角モ亦2小棘ニ依ツテ突起ス。左大鉗脚ハ長節及ビ腕節ガ三角形ニシテ、其ノ背面ニ粟粒散布ト、内縁ニ近ク1粒列、外縁ニ棘列ノアルコト顯著ナリ。前節ハ著シク扁平ニシテ側面ハ平滑ナド兩縁ハ指節モ同ジク一様ニ棘粒ヲ以テ飾ラル。左鉗ハ無毛ナレド右ノ小鉗ハ前節及ビ指節ニ黃金色ノ毛ヲ具フ。第二・第三脚ノ腕節及ビ前節ノ背縁ニ小ナル棘ノ列アリ、指節ハ前節ヨリモ長ク僅ニ彎曲シ、其ノ兩縁ニ毛ヲ具フ。甲長30mm。本邦東海・瀬戸内海・土佐・九州及ビ日本海新潟地方ニ廣ク分布ス。本邦産ニシテ本屬ニ含マルモノ4種アリ。(中澤)

第 2131 圖



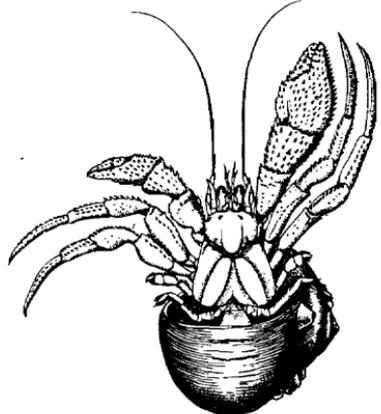
十脚目 歪尾亜目 やどかり科

おほつこのやどかり

Eupagurus ochotensis (Brandt)

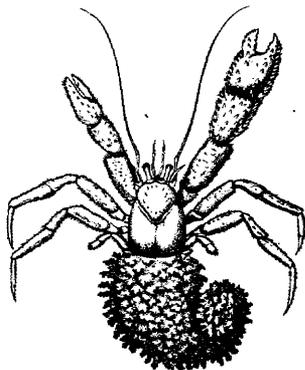
本種ハ頭胸甲比較的扁平ニシテ、頭部ニ胃域兩側ノ縦線ヲ認ムルモ前方ニ於テ消失シ、其ノ線ニ沿ウテ2〜3ノ毛アルモ他ハ全く平滑ナリ。額角ハ鈍狀ニ突出シ、眼節内前方ニ丸板ヲ成ス。鉗脚ガ本種ノ特徴ヲ示シ、大鉗ノ腕節ハ背面ニ略々四角形ノ面ヲ示シ、其ノ内外側縁ニ棘列、表面ニ多數ノ棘粒ヲ具フ。又前節及ビ指節モ同様に棘ヲ以テ飾ラレタリ。然ルニ腹面ハ腕節及ビ前節共ニ脹出シテ關節ヲ彎曲シタル場合ニ腹面ヲ平クク合ハセル事ヲ得。小鉗モ亦腕節以下各節多數ノ棘ヲ以テ同様に武装サレシメ、第三脚ハ腕節ノ背縁ニ棘列アリ、前節ニハ疣ノ散布スルノミ。鉗脚及ビ第二・第三脚ニハ殆ド毛ヲ具ヘズ、第四脚ノ指節ハ完全ニ備ハリ褥ヲ認メズ。甲長30mm。樺太・函館・津輕・熊野・金山・犬吠岬・佐波・長崎・朝鮮海峽ニ産ス。本邦産ニシテ本屬ニ含マル種ハ80餘種ヲ數フ。(中澤)

第 2132 圖



十脚目 歪尾亜目 やどかり科

第 2133 圖



いがぐりやどかり

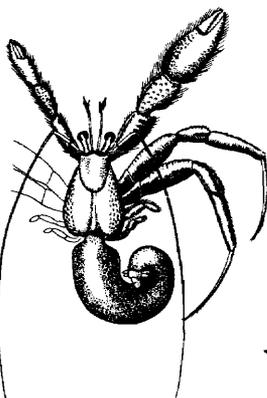
Eupagurus constans Stimpson

本種ノ額角ハ先端尖リテ明瞭ナリ。頭部ノ表面ハ平滑ニシテ條溝ナク只胃域ヲ取圍ム間際ニハ配置サレタル短毛僅ニ見ユルノミ。胸部ニハ心臟側溝ナシ。右ノ大鉗ハ長節ノ末端背部ニ2棘アルノミナレド、腕節・前節・指節ニ於テハ、其ノ背面ニ棘ト短毛ノ密生スルヲ以テ著シトス。即チ腕節ニハ内外縁ニ各1列ノ棘・背面ニ棘ノ散在ヲ見、前節ニハ略々4列ノ棘アリ、尙前節ハ背面扁平ナレド、腹面ハ丸ク隆起ス。第二・第三脚ノ腕節以下各節ハ短毛ヲ以テ飾ラル。甲長17mm。本種ハ多クノ場合ヒドろ蟲類ノHydractinia 屬ト共棲ス。即チ *H. sodalis* 或ハ *H. echinata* 等ノ附着セル介殼ニ好シク棲息ス。やどかりノ生長ト共ニヒドろ蟲類ノ群體ノ肉ハ發達シテコレヲ圍ム。本種ハ北函館・津輕ヨリ女川灣・相模灣・濱名湖ヲ經テ南長崎ニ至ル本邦各地ニ産ス。

〔中澤〕〔三宅追記〕

十脚目 歪尾亞目 やどかり科

第 2134 圖



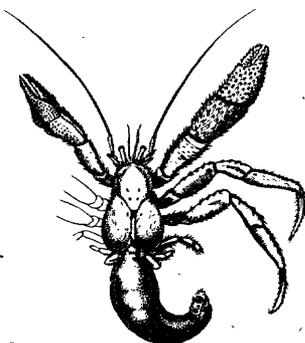
めだまやどかり

Eupagurus megalops Stimpson

本種ノ特徴ハ眼ノ比較的大ナルコトニシテ、眼柄ハ割合ニ短ク眼球ノ前端ハ第一觸角柄第三節ノ中央ニマデ達セズ。眼體節ノ内前縁ハ鈍三角形ヲナス。額ハ鈍狀ニシテ僅少ノ突起ヲ示スノミ。觸角鱗片ガ細長ク細棘狀ニシテ鋸齒等ヲ呈セズ。鉗脚ノ左右相違著シク、右ナル大鉗ニハ棘狀ノ疣多數散布シ又棘ヲ以テ内縁ヲ形成スルコト前掲おほつくやどかりノ如キモ腕節・前節ノ背面ハ上記棘狀ノ間隙ヲ充填スルニ短毛ヲ以テス。第二・第三脚ノ指節ハ著シク細ク長クシテ、其ノ前節・腕節ヲ合ハセタルモノヨリモ尙長シ。甲長14mmニシテ比較的小形ノ種類ナリ。前種ニ近似スルガおほつくやどかりノ北海産ナルニ反シ、本種ハ南海産ナリトス。〔中澤〕

十脚目 歪尾亞目 やどかり科

第 2135 圖



みつかどやどかり

Eupagurus trigonocheirus Stimpson

頭胸甲ニ於ケル頭胸溝及ビ細長キ心域ヲ挟ミタル心側溝明瞭ニシテ、心域ノ左右溝ハ平行ス。額角明瞭ニシテ三角形ヲ呈シ、眼ノ普通大、眼球ノ末端ハ第一觸角ノ第三節中央ニ達ス。第二觸角ノ棘ハ多數ノ毛ニヨツテ蔽ハル。右鉗脚ハ左鉗脚ヨリモ大ニシテ、小ナル左鉗ノ前節及ビ腕節ハ三角形狀ニシテ鉗部ハ背縁擴張シテ殊ニ其ノ狀態ヲ明瞭ニス。左右鉗ハ三角形ヲ呈ス。鉗脚及ビ第二・第三脚ニハ短毛生ズ。甲長25mm。本種ハあらすか・しべりあ・べーりんぐ海・かむちゅつか・かりぶをるにお沿岸ニ産シ、本邦ニ於テハ太平洋沿岸・日本海・朝鮮海峽ヲ經テ九州西海岸ニ至ル各地ニ分布ス。〔中澤〕〔三宅追記〕

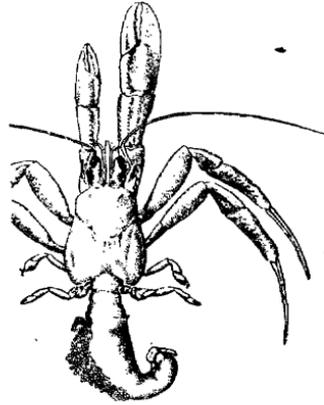
十脚目 歪尾亞目 やどかり科

はだかやどかり

Eupagurus gracilipes Stimpson

甲背ハ平滑ニシテ、頭胸溝ハ可ナリ明ラカニシテ殊
 側部ニ於テ顯著ナリ。額角短キモ明瞭ニテ三角形
 呈シ、前側角ヨリモ前方ニ突出ス。眼柄ハ稍太ク
 固ニシテ、第二觸角鱗片ニ略ト相等シ。第一觸角
 ハ眼柄ヨリモ長ク、第二觸角柄ニ略ト等シ。鉗脚
 ハ甲殼ニ於ケルガ如ク殆ド平滑、左右不同ニシテ右
 脚ハ左脚ヨリモ大ナリ。大鉗ノ掌節ハ腕節ヨリモ長
 ク指部ヨリモ短シ。掌節・腕節ノ背面ニハ顆粒列生
 セル1條ノ隆起線アリ。小鉗ハ細クシテ、腕節背面
 ニ2條ノ小齒列アリ、掌節ハ指節ト略ト相等シ。第
 二・第三胸脚モ亦無色ニシテ腕節ノ前縁ニ棘列アリ、
 指節ハ細ク先端ニ尖リ、前節ヨリモ遙カニ長シ。甲
 長9mm。樺太・函館・津輕海峽・女川・犬伏岬・東京
 灣・三崎・相模灣・駿河灣・御前崎・濱名湖・熊野灘・佐
 多岬・瓶島・五島ニ産ス。水深33~600m。〔三宅〕

第 2136 圖



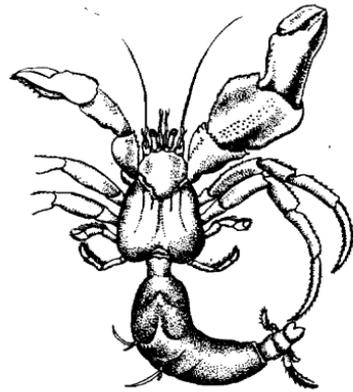
十脚目 歪尾亜目 やどかり科

こたうやどかり

Eupagurus cavimanus Miers

頭胸甲・鉗脚ノ第二・第三脚ノ石灰化強ク、マク吟
 下無毛、額角ハ三角形ニ突出ス。第二觸角棘ハ長ク
 彎曲シテ、觸角柄ノ末端ニ辛ウジテ達シ、毛生點シ。
 鉗脚ハ右大ニシテ本種獨特ノ形状ヲナス、即チ右鉗
 ノ長節ハ三角形ニシテ腕節著シク肥大シ、末端ニ近
 ク兩側ニ眼出シテ、其ノ幅ハ長節ヨリ廣ク兩側ニ鈍
 角面ヲ作ル。前節掌部ハ棒狀ニ長ク、其ノ幅ハ腕節
 ヨリ遙カニ狭シ。前節ノ指部ハ指節ト共ニ幅廣ニシ
 テ掌部ノ約1/2ニ過ギズ。左ノ小鉗ハ大鉗ニ反シテ腕
 節著シク細長ク、鉗脚ハ表面ニ小粟粒一帯ニ分布ス。
 腹部附屬肢ハ第三及ビ第四節ニ2個アリ、内外2肢
 ニ分レタルモ1ハ甚ダ小ナリ。第五・第六及ビ尾節
 ハ堅ク石灰化シ、尾脚ハ基部ニ内外2肢ニ分レ、左
 右ニ比シテ甚ダ大ナリ。甲長32mm。あらすか・
 ペーりんぐ海・津輕・銚岬・金華山・鹽屋崎・次城
 ・佐波・鳥取ニ産ス。〔中澤〕

第 2137 圖



十脚目 歪尾亜目 やどかり科

やまとやどかり

Eupagurus japonicus Stimpson

本種ノ頭部ハ比較的扁平ニシテ前縁及ビ頭胸溝附近
 ニ疎ニ毛ヲ生ズ。額角ハ低キ富士山形ニシテ其ノ前
 方ニ位スル眼節片ハ左右ニ分レテ對在シ、内前方
 ニ鈍狀ノ小突起ヲ出ス。眼ハ比較的太キ眼柄上ニア
 リテ第一觸角柄末端ニマデ達ス。第二觸角鱗片ハ彎
 曲セル針狀ニテ内縁ニ長毛、段階的ニ生ズ。鉗脚右
 大ニシテ、其ノ腕節背面ハ略ト三角形ヲナシ、前節
 掌部ハ略ト四角形ニシテ、背面中央高マル。腕節及
 ビ前節ノ兩縁ハ棘ヲ以テ節ラレタル外背面ニ多數ノ
 疣狀乃至棘狀ノ小突起アリテ、其ノ間ニ短毛粗生ス。
 指節ハ水平ヨリ僅カ斜ニ動ク位置ニ關スル。2對ノ
 歩脚各節ハ扁平ニテ長毛疎ク生ズ。第四脚ニハ前節
 ニ棘アリ。甲長21mm。本邦固有種ニシテ東京灣・
 相模灣・萩・對馬海峽・富山灣・長崎縣茂木等ニ産
 ス。〔中澤〕

第 2138 圖



十脚目 歪尾亜目 やどかり科

第 2139 圖



第 2140 圖



第 2141 圖



ほんやどかり

Eupagurus samuelis Stimpson

頭胸甲ハ長クシテ幅ノ2倍以上ニ達ス。額角ハ鈍角ニシテ中央尖ル。眼柄ハ圓柱狀ニテ第一觸角柄ト等シク、第二觸角柄ヨリ少シク長ク、頭胸甲ノ前縁ノ幅ノ約 $\frac{1}{2}$ ニ相當ス。眼體節鱗ハ左右相離レ外縁深ク割ラル。第二觸角棘ハ長クシテ末端節ノ $\frac{1}{2}$ ニ達シ屢ト先端ニ達スルコトアリ。鞭毛節ハ頭胸甲ヨリ明ラカニ長シ。鉗脚ハ右方大ニシテ棘狀突起密布ス。腕節ノ幅ハ高サヨリ大ニシテ内外共ニ圓味ヲ有ス。掌節モ亦上下ニ廣ク圓味ヲ有ス。部節ノ下面ニハ乳頭狀ノ1突起アリ。第二・第三脚ハ長クシテ鉗脚ヲ越エ、掌節ハ最長ニシテ殆ド指節ト部節トノ和ニ等シ。腕節ハ最も短シ。甲長10mm。體ハ帶黃色、鉗脚ハ暗青綠色ヲ呈シ、步脚先端部ハ淡色ニシテ、屢ト青色或ハ帶赤褐色ノ網ヲ有ス。本邦至ル所ノ淺海ニ普通ニ見ラルル種類ナリ。〔中澤〕

いぼあしやどかり

Pagurus impressus de Haan

本種ハ *Pagurus* 屬ノ特徴トシテ鉗脚ハ左右不同、左鉗大ナリ。頭胸甲ノ前縁ハ額部トシテノ突出ヲ見ズ。眼柄太クシテ、眼球大キク第一觸角柄第三節ノ中央ニ達ス。第二觸角棘ハ頭胸甲ヨリモ長シ。鉗脚左右ノ相違顯著ニシテ、左ナル大鉗ハ其ノ前節及ビ腕節ノ背面ニ疣狀突起多數分布ス。指節ハ上下面共ニ約3列ニ顆粒密布ス。第二・第三脚長大ニシテ、指節ハ前節ヨリモ長ク、前節ト腕節ヲ合ハセテ長サヨリモ短シ。第四・第五脚ニハ把握ノ柄ヲ有ス。腹體節ニ於ケル附屬肢ハ左側ニ4個ヲ有シ雄ニアリテハ小ニシテ單肢ナレドモ、雌ニテハ前3附屬肢大ニシテ3分肢ヲナシ、第四肢ハ雄ト同大ナリ。甲長31mm。三崎以南臺灣ニ至ル太平洋沿岸及ビ對島海峡ヨリ九州西海岸ニ至ル本邦各地ニ普通ニ見ラルル種類ナリ。〔中澤〕

めながやどかり

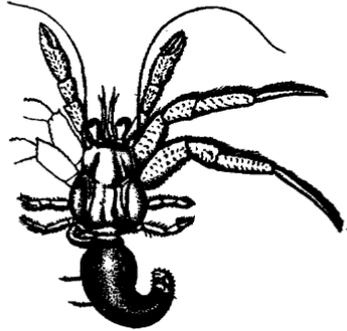
Paguristes digitalis Stimpson

本種ハ *Paguristes* 屬ノ特徴トシテ、左右鉗同大ナルコト、眼柄甚ダ長ク細キコト、第四脚ハ普通ニシテ特ニ肥大ノ弊無シ。本種ノ頭胸甲ノ頭部前縁ニ近ク皺ノ2~3條ヲ認ム。額角明瞭ニ突出シテ薄ク採取ラル。眼體節ハ細ク左右ヲ以テ八字形ヲ畫ク。眼柄ハ頭部ノ最大幅ニ等シク、第二觸角棘ハ短ク、頭胸甲全長ニ略ト等シ。第二觸角棘ニハ長毛ト列生アリ。鉗脚長節以下各節ノ背面ハ其ノ内縁ニ鈍棘ノ列アリ。表面ニ多數ノ疣狀隆起ヲ有シ、各疣ヨリ數本ノ黄金色長毛總ヲナシテ生ズ。指節ハ略ト三角錐狀ニシテ、2指ヲ合ハセテ腹面ニ壘ミヲ生ズ。 *Paguristes* 屬ノ特徴トシテ腹部第一節ニハ左右各トノ附屬肢ヲ有シ、尙頭胸甲及ビ腹部ノ前部ニモアリ。雄ハ第二節ニモ矢張り對照的附屬肢ヲ有ス。甲長20mm。函館・相模灣・紀州・土佐・萩・對島附近ニ分布ス。本邦ニ於テハ本屬中ノ既知種ニハ9種アリ。〔中澤〕

ぜんまいやどかり

Spiropagurus spiriger (de Haan)

頭胸甲ハ常ニ短ク幅廣ク、鉗脚ハ左右同大或ハ右鉗脚稍大ニシテ、第四・第五脚ハ鉗脚ヲ具フル等ハ *Spiropagurus* 屬ノ特徴ナリ。本種ハ眼大ニシテ眼柄短ク、前端ニテ多少膨大シ、眼體節ノ鱗片ハ薄クシテ柔軟且背方ニ窪ミアリ。鉗脚ハ左右同大ニシテ第二・第三脚ニ比シテ各節共ニ細シ。鉗脚及ビ第二・第三脚共ニ各節ニ鱗狀ノ横及ビ斜ノ多數皺ノ彫刻アリテ、各皺ノ窪ミニ毛ヲ生ズ。第二・第三脚ハ遙カニ鉗脚ヲ越エ其ノ腕節・前節ノ背縁ニハ列生ノ棘アリ。指節ハ僅ニ彎曲シ、第三脚ノ指節ハ前節ト腕節トヲ合ハセタルモノヨリモ長シ。甲長 18mm ハ普通ナリトス。富山灣及ビ三崎以南太平洋沿岸ヨリ印度洋ニマデ産ス。尙本種ノ近似種 *S. facetus Mein* ハ小笠原ニ産ス。〔中澤〕(三宅追記)

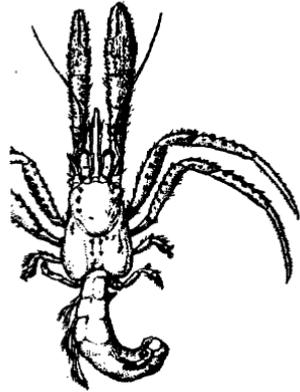


十脚目 歪尾亞目 やどかり科

けあしやどかり

Ceratopagurus pilosimanus Yokoya

甲幅ハ甲長ヨリモ短ク、頭胸甲ノ前半ヨリモ稍大ニシテ、甲背ハ平滑ニシテ、頭胸溝ハ明ラカナリ。額角ハ不明瞭ニシテ圓味ヲ有シ僅ニ突出ス。眼柄ハ第一觸角ノ第二節先端ヲ越エ、第二觸角鱗片ト略ト相等シ。眼體節鱗ハ細ク先端鋭ク、第二觸角柄ハ眼柄ヨリモ遙カニ長シ。鉗脚ハ剛毛ニ蔽ハレ、殊ニ掌節・腕節ニ於テ著シク且棘列ヲ具ヘ、右鉗ハ左鉗ヨリ稍大ナルモ、兩側共ニ近似セル構造ヲナス。右鉗掌節ハ長サハ指節ト略ト相等シキモ左鉗ニ於テハ僅ニ短シ。第二・第三脚ハ鉗脚ヨリモ長ク、剛毛粗生セリ。腕節前縁ニ棘列アリ、指節ノ先端ハ鋭ク尖リ内縁ニハ小棘ヲ具フ。雌ノ腹部第一節ニハ細ク且 2 節ヨリナル 1 對ノ附屬肢アリ。甲長 10mm。紀伊水道・種子島ニ産ス。水深 150~200m。〔三宅〕

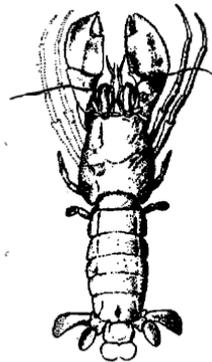


十脚目 歪尾亞目 やどかり科

やどかりもどき

Mixtopagurus rigidus Yokoya

甲殻ノ側縁ニ近キ後半部ハ可ナリ石灰化シ、額角不明瞭ニシテ前縁ニハ 2 對ノ小突起アリ。眼體節鱗ハ小さク、第一觸角柄ハ眼ヨリ長ク、第二觸角柄ハ眼ヨリ短ク、觸角鞭ハ頗ル短シ。第二觸角鱗片ハ短クシテ外縁ニ微細ナル缺刻アリ。鉗脚ハ左右不同ニシテ長節ハ三角柱ヲナシ、背面ハ平滑ナレドモ、腹面ニハ 1~2 棘ノ突起セル 2 條ノ隆起線アリ。腕節ニハ先端ニ近ク 1 條ノ横溝アリテ腕節ヲ 2 分シ、前半ハ殆ド垂直面ヲナシテ剛毛アリ、後半ハ平滑ナレドモ多數ノ顆粒散在セリ。掌節背面ニハ剛毛粗生シ、數棘ヲモ具ヘ、腹面ハ稍彎曲シ平滑ナリ。第二・第三脚ハ細ク長ク、第五脚ハ鉗脚ヲ有シ、第四脚ハ無鉗脚ナリ。腹部ハ左右相稱ニシテ、7 體節ニ分レ、第六節ノ外縁ニハ棘列アリ。甲長 12mm。御前崎・豊後水道・飯島・種子島ニ産ス。水深 190~300m。〔三宅〕

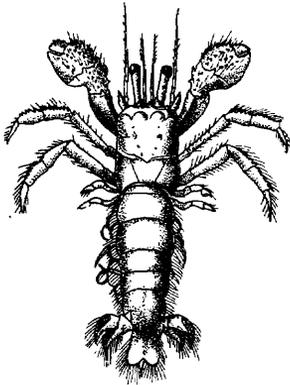


十脚目 歪尾亞目 やどかりもどき科

第 2145 圖

とげやどかりもどき

Mixtopagurus spinosus (Henderson)

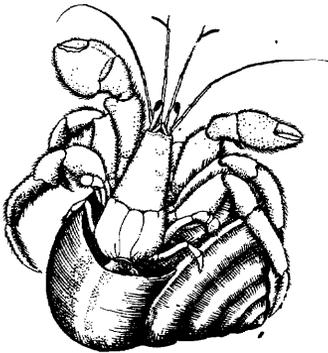


本種ハ前種やどかりもどきニ近似セル種類ナレドモ次ニ相違セル特徴ヲ擧ゲン。額角ハ三角形ヲナンシ伴カニ突起ス。鉗脚ハ左右相等シク長節ハ平滑ニシテ三角柱ヲナシ、背面ノ隆起線ノ先端ニ1棘アリ。腕節ハ掌節ノ1/2ヨリモ短ク、内縁ニ3齒、背面ニ數棘アリ。掌節ノ内縁ニ稍彎曲セル5齒アリ、背側ニハ小棘散在シ、指節ハ掌節ノ1/2ヨリモ短ク、指部ノ先端ニハ黑色ノ爪ヲ有シ、外縁ニハ顆粒狀突起及ビ短毛ヲ有シ、内縁ニハ各2~3齒ヲ有ス。第二・第三脚ハ短毛ヲ有シ、腕節前節ノ前縁ニ棘列アリ。第四・第五脚ハ不完全ナル鉗ヲ有ス。腹部第六節ハ他ノ節ヨリモ強ク石灰化シ、外縁ニ近く深キ縱溝アリ。甲長8mm。東京灣・相模灣・駿河灣・淡洲ニ産ス。水深100~300m (三宅)

第 2146 圖

をかやどかり

Coenobita cavipes Stimpson

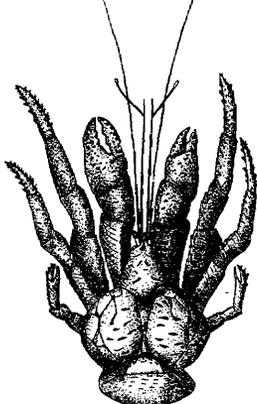


眼柄ハ左右ニ側扁シ眼節鱗片ハ左右中央前部ニテ癒合セル三角形ヲ呈ス。第一觸角柄甚ダ長シ。第二觸角鱗棘著シカラス。鉗脚ハ左右不同ニシテ、其ノ腕節ハ三角形ニテ前節腹方ニ甚ダシク擴張シ、之ヲ屈シテ長節ノ腹面凹所ニ接着ス。又前節・指節ノ背面ハ疣ノ散布ト粗毛ヲ見ル。第二脚ト第三脚トノ大サノ差ハ他ノやどかりニ比シテ甚ダシク、殊ニ左ハ右ヨリモ大ニシテ、左側ノ第二・第三脚ハ腕節ノ構造良ク互ニ密着シテ介殼内ニ身ヲ隠シタル場合ニ、此ノ2脚ト鉗脚ノ鉗部ヲ以テ完全ニ殼ノ蓋トナス。第四・第五脚ノ前節・指節ノ外面ニハ褐色ヲ呈スル褥アリ。腹背甲ハ第三腹體節マデノヲ存シ、各節ニ2分肢ノ附屬肢ヲ具フ。甲長22mm。小笠原・琉球・臺灣及ビ南洋諸島ノ陸上ニ産シ、高キ山ニモ登ル有名ナル種類ナリトス。尙近似種なきやどかり *C. rugosa* H. Milne-Edwards ハ最も普通ナル種類ニシテ本種ト共ニ棲息ス。本邦産トシテ知らレタルモノ5種ヲ數フ。(中澤) (三宅追記)

第 2147 圖

やしかに (まつこん)

Birgus latro (Linné)



寄居蝨ノ類ナガラ腹部ヲ貝殻ニ挿入セザル動物ニテ、頭胸甲及ビ腹部石灰化スルコト強ク、頭胸甲ハ鰓部著シク横ニ擴張シテ、其ノ内ニ空氣呼吸ノ可能ナル鰓ヲ有ス。額角ハ三角形ヲ呈ス。頭胸甲表面ニハ波狀ノ小皺・眼節片ハ小形ニテ耳搔狀、觸角鱗ハ扇狀ニテ眼側ニアリ。第一觸角柄ノ各環節ハ著シク長シ。鉗脚ハ左鉗ガ右鉗ヨリモ大ニシテ、後ノ2脚ト共ニ各脚ノ長節ニハ横皺ノ缺刻アリ、腕節以下ハ粗面ヲナシ、夫ニ棘及ビ剛毛密生ス。第四脚ハ甚ダ長ク、第三脚ノ腕節ニ達シ先端鉗ヲ形成シ、第五脚ハ小ニシテ甲下ニ隠ル。腹部ハ左右相稱ニシテ背甲ト側甲トガ良ク發達セリ。甲長132mm、腹部130mmハ寧ろ小形ナルモノナリ。琉球・臺灣及ビ南洋諸島ニ産シ、やし・たこのき等ノ果肉ヲ好ンデ食ス。前種ト同様ニ抱卵ノ雌ハ海岸ニ下リテ産卵シ、幼時ハ海ニテ成育ス。(中澤) (三宅追記)

十脚目 歪尾亜目

やどかりもどき科

十脚目

歪尾亜目

をかやどかり科

十脚目

歪尾亜目

をかやどかり科

たらばがに

Paralithodes camtschatica (Tilesius)

本種ノ頭胸甲ハ雌雄ニヨリ又大小ニヨリ多少異形ナリ、雄ノ大ナルハ小形ナルモノヨリモ横ニ廣ク、丸形ニテ、大ナル雄ハ甲長 22cm、甲幅 25cm ナルヲ見タリ。圖ハ雌蟹ニシテ甲長ハ甲幅ヨリモ長シ。額角ハ單棘トナリテ前ニ突出シ、甲面ハ胃域・心域ヲ分ツ深キ横溝ト兩側ノ心域・鰓域トヲ分ツ溝トガH形ヲ呈ス。鉗脚ハ右常ニ大ニシテ第二脚ヨリ第四脚マデ3對ノ脚ハ略ト同長、前記甲大ノ蟹ハ脚ヲ延バシテ横ニ145cmヲ計ル。蓋シ樺太産最大ノ蟹ナリ。頭胸甲及ビ脚ノ背面ハ生時暗紫色ヲ呈シ、多數ノ棘アリ小形ナルモノ程棘長ク鋭ク腹面ハ淡黄色、他種トノ區別ハ額角ノ單棘ナル事其ノ他ニシテ、他屬トノ區別ハ腹部第二節ガ5甲板ヨリ成ル事、其ノ他棘ノ排列ニ據ル。本種ハ北海道・樺太・朝鮮等おほ一つく海・日本海ニ産シ、海底ニ沈メテ垣根ノ如ク長ク張りタル刺網ニテ漁獲シ、雌蟹肉ヲ罐詰ニ製造ス。(中澤)

第 2148 圖



十脚目 歪尾亞目 たらばがに科

はなさきがに

Paralithodes brevipes Brandt

本種ハ生時暗赤紫色ニシテ、煮沸スル時ハ明ルキ桃赤色ニ變ズ。頭胸甲及ビ脚甲上ノ棘太ク大ニシテ甚ダ鋭ク、甲殻モ非常ニ堅シ。たらばがに科ノ特徴トシテ、第五脚ガ短ク頭胸甲ノ下ニ隠シ、腹部ガ普通關節ノ排列ナラズ、雌ニテハ著シク左右不相稱ニテ右ニ偏ス。本種ヲ他種ト區別スベキ著シキ點ヲ舉グレバ額角ノ先端ガ丸キ鈍狀突起ニ終ルコト、第二觸角鱗片ニ4棘アルコト、歩脚ガ短ク甲幅12倍弱ナルコト、甲及ビ脚ノ棘大ナルコト、指節(爪)ノ曲リ甚シキコト等ナリ。普通大ノ甲長 12cm、甲幅 12cm、最大ナルモノ甲幅 15cmヲ見タリ。たらばがにノ如ク寒海ニ棲ミ、樺太・北海道根室附近ヨリ千島列島かむらっかニ産ス。(中澤)

第 2149 圖



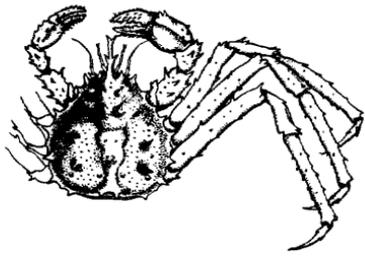
十脚目 歪尾亞目 たらばがに科

いばらがに

Lithodes turritus Ortman

額角長ク突出シテ其ノ先端ハ2棘ニ分叉シ、又額角ノ中央ヨリ兩側ニ1對ノ突起ヲ出ス。頭胸甲表面ニハ胃域ニ4個、心域ニ4個、鰓域ニ2個ノ大棘ノ外ニ側縁ニ接近シテ各側8個、後縁ニ2個ノ大棘アリ。小形蟹ニ於テハ之等ノ外ニ尙小棘アリ。鉗脚左右不同ナルハたらばがに科ノ特徴ニシテ、腕節・長節ニハ鋭キ大棘ヲ有ス。第二・第三・第四脚ハたらばがにノ脚ヨリモ細長ク各節圓柱形ニシテ、各節數個ノ棘ヲ備フモたらばがにヨリモ棘ノ數少シ。腹部體節ハ雌雄ニヨツテ異ナリ雌ニテハ左右不相稱ナリ。雌雄共ニ第二腹體節ハ中央板ト側板トガ癒合シテ其ノ兩側ニ縁板アリ。體長ハ甲長 190mm、甲幅 150mm、脚ヲ横ニ延バシテ 1m 餘ニ達ス。相模灣ニ産ス。(中澤)

第 2150 圖



十脚目 歪尾亞目 たらばがに科

第 2151 圖

いがぐりがに

Acantholithus hystrix (de Haan)

十脚目 歪尾亜目 たらばがに科



甲殻ノ側縁ハ前方ニ狹マリ後縁ハ圓ク彎曲シ、甲背ハ著シク彎曲シ長短棘密布シテ恰モ毛毯狀ヲ呈ス。甲域溝ハ可ナリ明ラカニシテ殊ニ頭胸溝深ク、胃・心・鰓域ノ隆起ハ顯著ナリ。額角ハ狭ク1棘中央ニ突出シ、尙其ノ後部ニ1對ノ長棘アリテ上方斜ニ伸長セリ。眼柄ハ可ナリ太ク長クシテ表面ニ小棘着生シ上記額角ノ2棘ニ蔽ハレテ背面ヨリ認め難シ。第二觸脚モ亦多數ノ小棘ヲ具フ。鉗脚ハ歩脚ヨリモ稍大ニシテ掌節幅廣ク、指部ニハ棘少ク點刻アリテ黃色ノ剛毛束粗シシ、内縁ニ各3個ノ大齒アリ。歩脚3對ハ略ト同じ構造ヲナス、最後ノ1對ハ短小ニシテがらてあ科ノモノト様々ニ構造ヲナス。腹部ハ左右相稱ニシテ第一節ハ最大ニシテ第二節以後ハ側板ヲ有ス。甲長75mm。相模灣・下田・遠州灘・紀州・土佐灣ニ産シ、350mノ海底ニ遊棲息ス。〔三宅〕

第 2152 圖

めんこがに

Cryptolithodes expansus Miers

十脚目 歪尾亜目 たらばがに科



頭胸甲表面ハ痘瘡狀ノ粗面ニ、又大ナル凹凸アリ。胃域ハ縦ニ高ク心域ハ3條ヲナシテ横ニ高ク、次ニ肝域ハ丸ク隆起ス。頭胸甲ハ横ニ廣ク、全部歩脚ヲ蔽ヒ其ノ縁ハ全縁ニ互ツテ35許リノ不明瞭突起ヲ以テ刻マレ、額部扁平ニ突出シ先端中央僅ニ前ニアリテ横ニ切斷サル。腹腿節ノ第一ハ中央ニ痕跡ヲ止ムルノミ、第二節ハ中央ニテ分レタル2側甲ヨリ成リ、第三以下ハ雌雄不同ナレドモ、雄ニ就テ遊ブレバ第三ヨリ尾節マデノ全形三角形ヲ呈シ、第三節ハ小ナレド、第三ヨリ第五節マデ中央板ト側板トアリ。第六節ハ側板ヲ缺キ尾節ヲ蔽フ。鉗脚右大ニシテ各節表面ハ粟粒ニテ蔽ハレ、左右鉗トモ指部背面ニ1瘤狀突起ヲ有ス。第二脚ヨリ第四脚マデハ同形、長節ハ腹面ニ溝ヲ有シ腕節以下ハ扁平ニテ背腹ノ稜鋭シ、第五脚ハ失ハル。甲長48mm、甲幅58mm。函館・陸奥灣・陸中宮古・女川灣・三崎・下田・紀州・富山灣等ニ産ス。〔中澤〕

第 2153 圖

いぼとげがに

Hapalogaster dentata (de Haan)

十脚目 歪尾亜目 たらばがに科



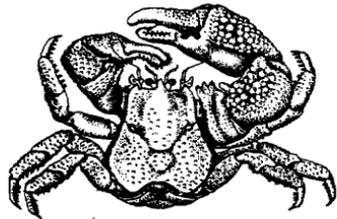
頭胸甲ハ頭胸溝ニテ界サレ、頭部ニハ眼柄ヨリ僅ニ越エタル單棘ノ額角ト眼窩外縁ヲナス2小棘アリ。側縁ハ平滑ナレド、胸部側縁ニハ6棘ヲ以テ縁取ラル。大鉗長節・腕節・前節ノ背面ニ棘ト疣多ク、掌部ノ最外棘ハ1列ニ並ビ長キ毛列ノ上ニアリ。第二脚ハ第三脚ヨリモ小ニシテ第三・第四脚ハ同大ナリ。3對ノ歩脚ハ其ノ背面ニ1列ノ棘アリ。腹部ハ第二腹節細キ中央板ト廣キ兩側板ヨリナリ、以後ハ膜狀ニシテ、雌ニテハ中軸ガ右ニ偏シ、3個ノ左側板著シク大ナリ。雄ノ腹部ハ略ト左右相稱ニテ第二腹節以後ハ全部膜狀ニテ側板ヲ見ズ。甲殻ノ背全面ハ短毛ヲ以テ數キツメラレタリ。甲長15mm、甲幅16mmナルハ普通ナリ。函館以南・五島・天草ニ至ル本邦各地ニ産シ、干満潮線ノ岩礁ノ下面或ハ海藻ノ根元ニ棲息ス。〔中澤〕

いぼがに

第 2154 圖

Oedignathus inermis (Stimpson)

頭胸甲ハ僅ニ丸味ヲ帯ビ、鰐城兩側ニ脹出ス。額角ハ三角狀ニ突起又前側角モ鈍ク突起ス。甲ノ全周ニ棘ナキコトハ*Oedignathus* 屬ノ特徴ニシテ、甲ノ表面ハ多數疣狀扁平ナル小隆起ニテ蔽ハレ、各隆起ノ前縁ニ毛乏シク發生ス。鉗脚ハ左右著シク不同、右鉗大ニシテ、其ノ腕節ハ長節ヨリ長ク、掌部ハ大ニシテ脹レ、指節ノ咬合面先端ハ中窪ミテ兩縁高マリタル溝形ヲナス。小鉗脚ノ腕節内縁ニ大ナル突起ヲ有シ、長節前縁ノ突起ト對立ス。第二ヨリ第四マデノ脚ハ同形同大ニシテ太ク短シ。鉗脚及ビ其ノ他ノ脚表面ハ甲表面ト同様疣狀突起ヲ以テ充タサル。腹部ハ柔軟ニシテ胸部腹面ニ折レ曲ル。體長ハ脚ヲ左右ニ延バシテ 100 mm、頭胸甲ノ長サハ 35 mm ヲ普通トス。北海道・陸奥灣・女川灣・下田・紀州及ビ日本海方面ニ於テハ富山灣・對島ニ産ス。〔中澤〕



十脚目 歪尾亞目
たらがに科

すなほりがに

第 2155 圖

Remipes testudinarius Latreille

頭胸甲ノ兩側ガ胸肢ヲ包ミテ圖ノ如ク特ニ延バスニアラザレバ胸肢ハ背面ニ表ハレズ。腹部第一體節ハ側甲大ニシテ頭胸甲ニ附着シ動かズ、第二ヨリ第六マデハ側甲大ナラズ、第七節即チ尾節ハ著大ニシテ爪形ヲ呈ス。本種ノ額角ハ全ク缺如シ、前縁ハ眼柄ノ突出スル僅ノ切込ミヲナシテ丸キ前側角ニ移ル。第二觸角ノ萎縮セルニ反シ、第一觸角ハ長ク且多少必ズ曲リテ一面ニ多數ノ毛ヲ列生ス。之ニ依リテ第一觸角ハ呼吸水ノ出水管ヲナスト知ラル。胸部後方5對ノ脚ハ第一對ノミ長ク延ビテ背面ニ表ハル。第二ニ第四對ハ各節皆短縮シテ指ハ扁平ナル三角形ヲナシ、第五對ハ極メテ細ク棘狀ヲ呈シ腹肢ノ棘狀ナルト相類ス。然ルニ尾肢ノミハ扁平ニシテ大ニ外部ニ表ハル。甲長 20 mm、腹部ノ長サ 23 mm。産地、三崎・下田・富山灣・若狭・薩摩・大隅嶺之島・奄美大島・沖縄本島・宮古島・石垣島・臺灣高雄・小笠原。〔中澤〕



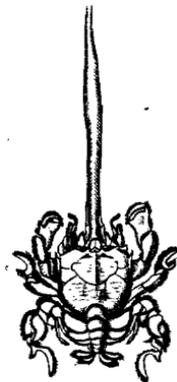
十脚目 歪尾亞目
すなほりがに科

くだひげがに

第 2156 圖

Albunea symnista (Linné)

本種ハすなほりがにノ如ク頭胸甲胸脚ヲ蔽フ程ニ發達セズ、背面ニ頭胸甲線ト夫ニ交ハル2條線ヲ認テ接シ、眼ハ扁平半面狀ノ眼柄ノミニシテ左右互ニ接シ、ソレニ眼球部ヲ認メズ。第一觸角ハ體長ヨリモ遙カニ長ク、すなほりがにノ如ク細カキ環節ノ内側ニ1列ノ毛ヲ有シ、砂中ニ埋没シタル場合左右合シテ出水管ヲナス。第二觸角ハ棒狀ノ鱗片ト短キ鞭ヲ有ス。第一脚ハ後脚ヨリモ太ク、前節ト指節ニテ鎌切形ノ擬鉗ヲナス。第二ヨリ第四脚マデ同形ニシテ、其ノ指節ハ彎曲セル鎌形ヲナシ、第五節ハ縮小シテ作用ヲナサザル退化器官トナル。腹部ハ第一體節ヨリ第三體節マデ側甲顯著ニ發達シ、第六脚ノ尾脚ト尾節トハ普通ノ扇形ヲナス。頭胸甲ノ左右ノ脚及ビ腹體節ノ邊縁ニハ軟毛多シ。體長 30 mm。砂中ニ埋没シテ生活ス。産地、下田・富山灣・南洋ばらお。〔中澤〕



十脚目 歪尾亞目
くだひげがに科

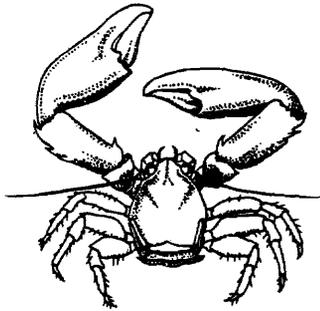
第 2157 圖

あかはらかにだまし

Petrolisthes japonicus (de Haan)

頭胸甲橢圓形ノ額角三角状ニ突出シ、鉗脚ノ大ナルコト、第二觸角鞭ノ長キコト、腹部良ク發達セルコト、第五脚短縮セルコトハ、かにだまし科ノ特徴ニシテ外觀ニ似テ大イニ異ナル處ナリ。本種ハ *Petrolisthes* 屬ニテ、前觸角・眼上棘ハトモニ缺如シ、頭胸甲側完全ニ存シ、鉗脚ハ左右不同ナリ。鉗脚ノ長節著シク短ク、夫ニ反シ腕節長大、長サハ幅ノ3倍アリ、外緣末端ニ近ク3棘、前緣始端ニ接シテ1棘アリ。成體ニ於テハ此ノ外ニ前緣中央ニ尙1齒ヲ具フルモノアリ、掌部扁タク外側彎曲セリ。頭胸甲及ビ鉗脚ハ全然平滑無毛ナリ。第二脚ヨリ第四脚マデ鉗脚ニ比シテ小ナレド普通ニシテ硬ニ毛アリ、第五脚ハ甲外ニ表ハル。甲長 15mm。淺所ノ岩礁ニ棲息ス。小湊以南ノ太平洋沿岸・瀬戸内海・富山灣・九州西海岸・奄美大島・沖縄本島・宮古島・小笠原・香港ニ産ス。本邦産ニテ本屬ニ含まル種ハ既知 15 種ヲ數ヘ、多ク淺海・珊瑚礁ニ棲息ス。

〔中澤〕(三宅追記)



十脚目 歪尾亞目

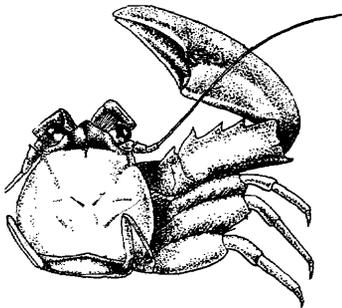
かにだまし科

第 2158 圖

みなみあかはら

Petrolisthes hastatus Stimpson

甲長ハ略々甲幅ニ等シク、甲背ハ無毛平滑ナリ。前種あかはらかにだましト同様ニ眼上棘及ビ前觸角ハ缺如セリ。第一觸角基節ノ前緣ニハ内外側ニ各1齒ヲ有シ、前者ハ鈍ク、後者ハ鋭ク發達セリ。第二觸角ノ第二節前緣ニハ扁平ナル突起アリテ、其ノ前緣基部ハ鋭角ヲナス。鉗脚ハ左右不同ニシテ、腕節ハ略々甲長ニ等シク、其ノ前緣ニハ3個ノ鋭齒アリ、後緣ニ沿ウテ走ル隆起線ハ平滑ニシテ、其ノ末端ハ著シク突出ニシテ腕節末端ヲ遙カニ越ユ。掌節背面ハ著シク扁平ニシテ、指部咬合面ニハ軟毛密生ス。歩脚ニハ短毛粗生シ、長節前緣ニハ1~5個ノ小棘アリ、前節後緣ニハ4個ノ小棘ヲ具フ。甲長 12mm。珊瑚礁或ハ淺海ノ岩礁・小礫ノ下ニ棲息ス。喜界島・奄美大島・琉球・臺灣・すまとら・じやわニ分布ス。〔三宅〕



十脚目 歪尾亞目

かにだまし科

第 2159 圖

けふかあかはら

Petrolisthes tomentosus (Dana)

甲殼及ビ脚ノ表面ニハ短毛密生シ、毛ヲ取り去リタテ表面ハ平滑ナリ。前觸角ハ鋭ク突出スレドモ眼上棘ハ缺如セリ。鉗脚腕節ノ前緣ニハ3~4齒アリ更ニ二分岐セル齒ヲモ有シテ鋸齒狀ヲ呈シ、後緣ニ沿ウテ走レル1條ノ隆起線ノ末端ハ伸長シ、其ノ上ニ數個ノ小棘列生シ、末端ニ近キ2~3棘ハヨク發達シテ鋭角トナル。掌節外緣ハ軟カナル長毛ニテ縁取ラレ、其ノ毛ノ下ニハ鋭ク發達セル5~6棘アリ、表面ニ密布セル短毛ヲ取り去レバ外緣ニ沿ウテ走レル1條ノ顆粒狀突起ヲ認メ得。歩脚長節ノ前緣ニハ數個ノ小棘アリ。後緣ノ末端ハ第一・第二步脚ニアリテハ2~3個ノ小棘アレドモ、第三步脚ニ於テハ全ク棘ヲ有セス。甲長 7.5mm。長崎縣男女群島・鹿兒島・奄美大島・石垣島・臺灣・小笠原等淺海ノ岩礁ノ下ニ棲息ス。〔三宅〕



十脚目 歪尾亞目

かにだまし科

あじあかはら

Petrolisthes asiaticus (Leach)

甲背ニハ短毛密生シ、前鰓棘ヨク發達セリ。第一觸角基節ノ前縁ハ彎曲シ、外側ニ三角形ノ突起アリ。第二觸角第二節ハ顆粒ニ蔽ハレ、前縁基部ニ1棘アリ。第三顎脚ノ長節ハ略々二等邊三角形ヲナシ表面ニ横皺アリ。鉗脚ノ腕節ハ甲長ニ略々等シク、前縁ニハ通常幅廣キ3齒アリ、表面ハ多數ノ鱗狀突起或ハ横縞ニテ蔽ハル。掌節ハ扁平ニシテ、表面ハ腕節ノ如キ突起。横縞ヲ有シ、指節咬合面ハ短毛密生ス。歩脚ニハ短毛粗生シ、長節前縁ニハ末端ニ近ク數個ノ小棘アリ。前節後縁ニハ5個ノ小棘アリ。生時背面ハ暗綠色ヲ呈シ、黑色ノ斑點其ノ上ニ密布ス。酒精漬標本ニ於テハ其ノ斑點ハ赤色ニ變ジ、腹面ハ紅色ヲ呈ス。甲長9mm。珊瑚礁ニ普通見ラルル種類ナリ。鹿児島・琉球・南洋ニ産ス。〔三宅〕



十脚目 歪尾亜目 かにだまし科

よこじまあかはら

Petrolisthes militaris (Heller)

甲殻ハ左右ニ稍彎曲シ、胃域及ビ鰓域ニハ横縞アリテ、其ノ前縁ニハ微細ナル毛ヲ生ズ。額角前縁ニハ擴大鏡ニテ認メ得ル多數ノ小棘列生シ、眼上棘鋭ク突出セリ。幅廣キ前鰓棘ノ後方甲背ニ1棘アリ、側縁中央部ニ2~4個(通常3個)ノ鋭齒ヲ具フ。第一觸角基節ノ前縁ニハ多數ノ缺刻アリ、第二觸角第二節ノ突起ニハ數個ノ切込ミアリ、第三節前縁ニハ剛毛粗生ス。鉗脚ノ背面ハ甲背ト同様ナル横縞ニテ蔽ハレ、腕節ハ甲長ノ略々 $\frac{3}{4}$ ニ達シ、其ノ前縁ニハ4~5個ノ鋸齒アリ、掌節ハ彎曲シ外側ニハ多數ノ鋭齒列生ス。歩脚ハ長毛粗布シ、長節前縁ニ3~5個ノ鋭齒アリ、前節後縁ニハ4~5個ノ小棘ヲ具ヘ、指節後縁ニハ3小棘アリ。甲長6mm。種子島以南ノ珊瑚礁ニ棲息ス。〔三宅〕



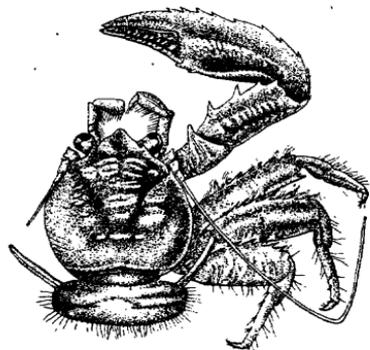
第 2161 圖

十脚目 歪尾亜目 かにだまし科

おほあかはら

Petrolisthes coccineus (Owen)

甲背ニ短毛密布シ、胃域ハ可ナリ隆起シ横縞アリ。前種ノ如ク眼上棘及ビ前鰓棘顯著ナリ。第一觸角基部ノ前縁ニハ5鋭齒アリ、齒間ニハ多クノ缺刻ヲ生ズ。第二觸角ノ第二節前縁ノ突起部ノ基端ハ鋭ク突出シ、第三節前縁ニハ顆粒密布セリ。第三顎脚長節ノ三角狀突起ノ先端ニハ1小棘附屬シ、腕節外側ニ沿ウテ走ル3條ノ縦縞ニハ羽毛列生セリ。鉗脚腕節ノ前縁ニハ3~4個ノ鋭齒アリ、後縁ニ近ク2~3齒アリ。掌節外縁ニハ凡ソ10齒アリ、内縁先端ニ2棘アリ。歩脚長脚ノ前縁ニハ數個ノ小棘アリ、後縁末端ニ近ク2小棘アリ。本種ハ *Petrolisthes* 屬中最モ大型ノ種類ニシテ、淺海ノ岩礁ノ下ニ棲息ス。甲長21mmニ達ス。小湊・田邊灣・土佐・福岡縣沖島・對馬・天草富岡・鹿児島・小笠原ニ産ス。〔三宅〕

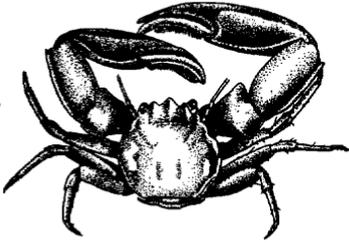


第 2162 圖

十脚目 歪尾亜目 かにだまし科

第 2163 圖

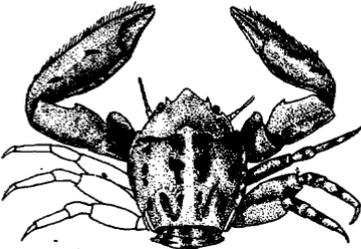
ふとうてかにだまし

Porcellana serratifrons Stimpson十脚目 歪尾亜目
かにだまし科

甲殼ハ平滑且光澤ヲ有シ後方ハ可ナリ張出し、側縁中央ニ1齒アリ。額角ハ3葉ヨリ成リ、中葉最も大ニシテ微細ナル缺刻アリ。眼窩後縁ニハ2-3個ノ小齒アリ、頸溝末端ノ前側縁ニハ深キ缺刻ヲ生ズ。第一觸角基節前縁ニハ6-7個ノ小棘アリ。鉗脚ハ著シク大ニシテ腕節ハ甲長ヨリ稍短ク、小型ノモノニ於テハ前縁ニ2小齒アレド、大型ノモノニ於テハ無棘ナリ。掌節ハ腕節ヨリモ稍長ク甲長ニ略ト同ジク、背面正中線ハ可ナリ隆起セリ。小型ノモノニ於テハ外縁ハ長毛列生スレドモ、大型ニ於テハ無色平滑ナリ。指部ハ著シク捻レ、咬合面ニ沿ウテ長毛叢生ス。歩脚ハ長毛粗生シ、前節後縁ニハ5小棘アリ。甲長11mmニ達ス。淺海ニ棲息シ、瀬戸内海因島・朝鮮海峡・備後灘・福岡縣柳河・佐世保・天草富岡・香港・ジャバニ産ス。〔三宅〕

第 2164 圖

べつかふかにだまし

Porcellana pulchra Stimpson十脚目 歪尾亜目
かにだまし科

甲殼ハ左右ニ彎曲シ、平滑且光澤ヲ有シ、側縁ハ規則正シキ弧ヲ畫キテ膨出ス。額角ハ3齒ヨリ成リ、三角形ヲナス中央齒ハ著シク大キク、兩側齒ハ小サク鋭ク尖レリ。第一觸角基節ノ前縁ハ可ナリ彎曲シ、其ノ前縁ニハ先端圓キ棒狀ノ3小棘アリ。鉗脚ハ稍細クシテ、腕節基部ハ膨脹シ、其ノ前縁ニ1小齒アリ。腕節・掌節ノ背面正中線ハ著シク隆起セリ。掌節外縁ハ殆ド直線ヲナシ、細ク尖リ長毛列生セリ。歩脚長節ノ前縁ニハ數個ノ小棘アリ、第五脚ハ頗ル短シ。生時甲殼ハ青褐色、正中線及ビ額角ハ白色ヲ呈ス。甲長10mm。砂泥底ノ淺海ニ普通ニ採集セラレ、屢トはあんやどり Pagurus haani (Rathbun)、ふねがひ Syphopattella walahi (Reeve) 等ト共ニ巻貝ノ介殼中ニ共棲ス。舞鶴・備後灘・柳河・香港ニ産ス。〔三宅〕

第 2165 圖

とげかにだまし

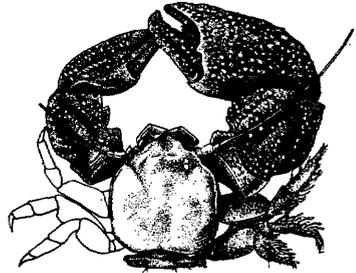
Porcellana ornata Stimpson十脚目 歪尾亜目
かにだまし科

甲殼ハ略ト卵形、甲背ハ稍彎曲シ、甲域ハ可ナリ隆起シテ、殊ニ前半ニ於テ著シ。額角中央ニ深キ切込ミアリテ2葉ニ分カレ、前縁ニハ微細ナル齒ヲ有ス。第一觸角ノ基節前縁ハ可ナリ彎曲シ、其ノ内側ニ1棘、外側ニ2棘アリ。鉗脚ハ幅廣ク扁平ニシテ、左右略ト相等シク、表面ハ顆粒狀或ハ鱗片狀ノ突起ニ蔽ハル。腕節ハ長大ニシテ2條ノ溝ヲ有シ、内縁ハ殆ド直線ナルモ屢ト數個ノ小棘不規則ニ發達シ、基部ノ1齒ハ顯著ニシテ、後縁ニハ數個ノ小齒アリ。掌節ハ廣ク扁平ニシテ、正中線ハ著シク隆起シ、外縁ニ長毛密生ス。指部ハ短ク、咬合面ハ接著シテ間隙ナシ。歩脚ニハ長毛密生ス。甲長6mm。淺海ノ岩礁ニ棲息ス。田邊灣・瀬戸内海因島・福岡縣沖島・天草富岡・香港ニ産ス。〔三宅〕

こぶかにだまし

Pachycheles stevensii Stimpson

甲背ハ平滑、甲域不明瞭ニシテ側縁ニ近ク横皺多數
密布セリ。側縁ハ明ラカナル隆起線トナリテ後方ニ
走り、鰓域ノ中央部ニ至ル。第一觸角ノ基部前縁ハ
著シク彎曲シ内側ニ3小棘アリ。第三顎脚長節ノ突
起ハ舌狀ヲ呈ス。鉗脚ハ幅廣ク表面ハ稍彎曲シ、顆
粒狀或ハ瘤狀突起密布セリ。腕節ハ甲長ノ略 $\frac{1}{2}$ 、
前縁ニハ複雑ニ分岐セル數個ノ齒ヲ有シ、背面ニハ
2-3條ノ縦溝アリ。掌節背面ニモ腕節ト同様ノ縦
溝3條アリ。指部咬合面ニハ短毛密生シ、大鉗不動
指ノ中央ニハ顯著ナル瘤狀突起1個アリ。步脚ハ稍
幅廣ク、前縁ニ軟毛叢生シ、前節後縁ニ4小棘ア
リ。甲長15mm。北海道・陸奥灣・女川灣・福島縣
小名濱・東京灣・田邊灣・瀬戸内海因島・土佐・長
崎・朝鮮海峡・富山灣・うちおすとつくニ分布ス
〔三宅〕



第 2167 圖

うきぼりかにだまし

Pisosoma sculptum (H. Milne-Edwards)

甲長ハ甲幅ヨリモ短ク、甲背ハ彎曲シ、平滑且光澤
ヲ有スレドモ線狀或ハ點刻多數散在セリ。額角ハ殆
ド直線ヲナス。第一觸角基部ニハ數條ノ横皺アリ、
前縁ハ内方ニ強ク彎曲ス。第二觸角ノ第三節ハ著シク
長ク第二節ノ略 $\frac{1}{2}$ 倍アリ。第三顎脚長節ノ舌狀
突起ハ波狀ノ遊離線ヲ有ス。鉗脚ハ幅廣ク、表面
ニハ深刻模様ノ突起アリ、其ノ突起ノ間ヲ走ル深キ縦
溝ハ腕節ニ4條、掌節ニ5條アリ。腕節前縁ニハ複
雜ニ分岐セル3-5個ノ齒アリ。步脚ノ前節・指節ノ
前縁ニハ長キ剛毛粗生シ、前節後縁ニ4小棘アリ。
尾節ハ5葉ヨリ成リ、中葉小サク、側葉稍大ナリ。
甲長3mm。生時甲背及ビ鉗脚ハ紅色ヲ呈シ、甲背
中央部ニハ白斑アリ、步脚ハ白地ニ紅色ノ縞アリ、
腹面白色ヲ呈ス。奄美大島・琉球・南洋すまとら・
ヒヤワノ珊瑚礁ニ棲息ス。〔三宅〕

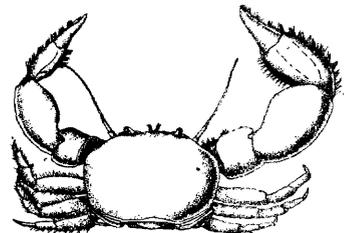


第 2168 圖

やどりかにだまし

Polyonyx asiaticus Shen

甲殼ハ幅廣ク甲幅ハ甲長ノ略 $\frac{1}{2}$ 倍アリ、甲背ハ
平滑ニシテ光澤アリ、前後ニ著シク彎曲ス。額角ハ
前方ニ傾キ之ヲ背面ヨリ見レバ殆ド直線ナリ。第二
觸角ノ第三節ハ著シク長ク、第三顎脚ノ長節内縁ニ
ハ1個ノ齒狀突起アリ。鉗脚左右ニ不同、腕節前縁ハ
著シク前方ニ突起シ、腹側ニ大ナル窪ミアリ。掌節
ハ指部ノ方向ニ膨出シ、内外縁ニ各1條ノ毛列着生
シ、殊ニ外縁ノ毛列ハ顯著ナリ。指部咬合面ニハ小
齒アリ、先端ハ僅ニ彎曲ス。步脚ニハ短毛着生シ、
前節・指節ノ後方ニハ夫々4小棘アリ。Polyonyx
屬ニハ自由生活ヲナスモノアレドモ多くノ場合他ノ
動物ニ共棲ス。本種ハ甲長4mm、山東半島ニ産シ
屋ノ多毛類 Chaetopterus ノ棲管内ニ共棲ス。近似
種 P. utinomii Miyake ハ田邊灣ニ産シ、同一動物
ノ棲管内ニ共棲ス。〔三宅〕



十脚目 歪尾亞目 かにだまし科

十脚目 歪尾亞目 かにだまし科

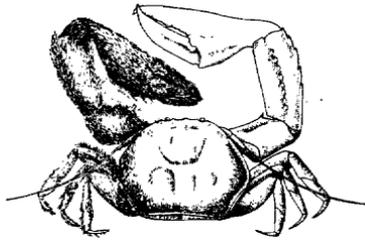
十脚目 歪尾亞目 かにだまし科



ぶさかにだまし

Raphidopus ciliatus Stimpson

十脚目 歪尾亜目 かにだまし科

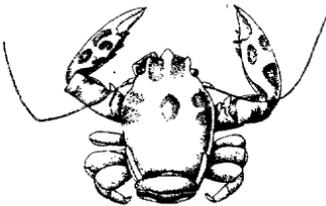


體表ハ短毛ニ蔽ハレ殊ニ甲殼及ビ脚ノ側縁ニハ長毛密生セリ。甲殼ハ横ニ長ク圓味アリテ前方ニ狭マリ、側縁中央部ハ最モ張出セリ。額角ハ殆ド直線ヲナシ、3小齒僅カニ突出ス。第一觸角ノ基部前縁ハ稍前方ニ彎曲シ、顆粒密布セリ。第二觸角基部ハ圓柱狀ヲナシ、第三節ハ第二節ノ長サノ1.3倍ナリ。第三顎脚内縁ニハ舌狀突起アリ。鉗脚ハ長大、略々三角柱ヲナシ長毛密布セリ。長節ノ長サハ腕節ノ $\frac{1}{2}$ 、前縁末端ニ近ク1棘アリ、腕節ハ鉗ノ長サノ $\frac{1}{2}$ 、其ノ正中線ハ隆起シテ其ノ上ニ小棘列生シ、外縁ニハ末端ニ近ク數個ノ小齒アリ。掌節ハ先端ニ幅廣ク、指部ヨリモ短シ。歩脚ハ細ク側縁ニ長毛列生ス。甲長9mm。生時ハ白色乃至淡黃褐色ヲ呈シ、常ニ泥底ニ棲息セリ。東京灣・三崎・備後灘・天草富岡・香港ニ産ス。〔三宅〕

うみえらかにだまし

Porcellanella picta Stimpson

十脚目 歪尾亜目 かにだまし科



甲長ハ著シク長ク、側縁ハ殆ド平行ナリ。甲背ハ平滑ニシテ額角及ビ側縁ニ近ク多數ノ横皺アリ。生時ハ圖ノ如キ顯著ナル斑紋ヲ有シ、斑紋ノ色彩ニハ雌雄ノ別アリ。雄ハ灰褐色、雌ハ赤褐色、卵ハ淡綠色ヲ呈ス。額角ハ水平ニシテ3葉ヨリ成リ、中葉最モ大キク先端ハ圓味ヲ有ス。第一觸角ノ基部前縁ハ強ク傾キ内外側縁ニ各2小棘アリ。第三顎脚長節ニハ葉狀突起アリ。鉗脚腕節ハ短クシテ甲長ノ略々 $\frac{1}{2}$ 、掌節ノ内外側ハ稍彎曲シ、内側ノ先端ニ近ク軟毛叢生セリ。歩脚ハ太ク短ク、前節後縁ニハ先端ニ1小棘アリ、指節後縁ニハ鋭キ4鈎爪ヲ具ヘ、他ノ動物ニ附着スルニ適應セリ。甲長10mm。うみえらPterocidesニ附着共棲ス。下田・伊勢灣・田邊灣・備後灘・天草・香港ニ産ス。近似種 P. triloba White ハ南洋ばらおニ産ス。〔三宅〕

あかほしかにだまし

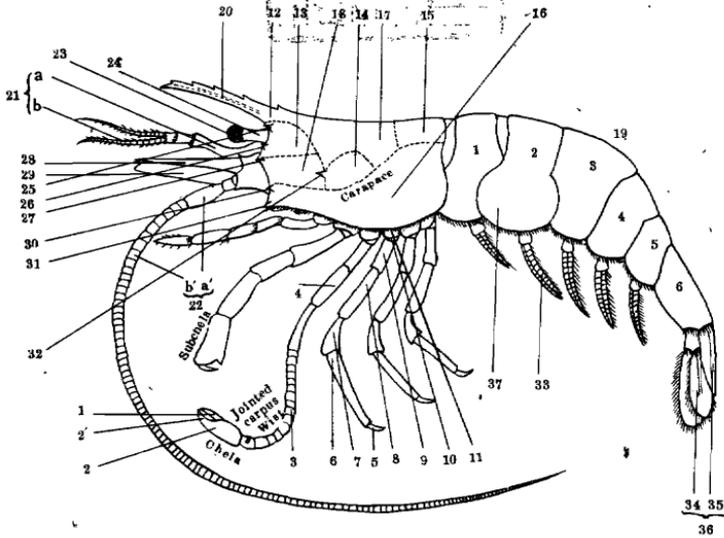
Neopetrolisthes ohshimai Miyake

十脚目 歪尾亜目 かにだまし科



本種ハ Petrolisthes 屬ノモノニ近似スレドモ、其ノ異ナル特徴ノミ擧グレバ、甲長ハ常ニ甲幅ヨリモ大キク、甲背ハ著シク彎曲シ、殊ニ胃域ニ於テ顯著ナリ。額角ハ幅廣ク、頗ル扁平ナリ。眼ハ可ナリ小ニシテ、第三顎脚ノ長節内縁ニハ Porcellanella 屬ニ見ラルルガ如キ舌狀突起アリ。鉗脚ハ著シク短ク、腕節ハ甲長ノ略々 $\frac{1}{2}$ 、其ノ前縁ニハ3鋭齒アリ。歩脚ハ短ク、棘毛少ク、僅カニ長節先端ニ1小棘、指節前縁ニ2小棘アリ。生時甲背・鉗脚ノ表面・歩脚基部ニハ大小多數ノ紅色斑點密布セリ。甲長14.5mm。珊瑚礁ニ棲息セル大型イセギンチャク Stoichactis kenti ノ口道内ニ美シキ小魚かくれくまのみ Actinocola pereula (Lacépède)、いせぎんちやくやどりえび Periclimenes brevicarpalis (Sehankel) ト共ニ複雑ナル共棲生活ヲナス。琉球・ばらお・濠洲大堡礁ニ産ス。〔三宅〕

十脚目 長尾亞目(蝦類)概説



第一圖 蝦類ノ體制模式圖

- | | | | | | |
|-------------|------------------|-------------|------------------------------------|----------------|-----------------------|
| 1 指節・可動指 | Movable finger | 18 觸角 區 | Antennal region | 27 觸角上棘 | Antennal spine |
| 2 掌部 | Palm | 19 腹部 | Abdomen | 28 棘 | Spine} 第二觸角鱗片 |
| 2 前節指部(不動指) | Immovable finger | 20 額角 | Rostrum | 29 葉片 | Blade} Antennal scale |
| 3 腕節 | Carpus | 21 第一觸角 | Antennule | 30 鰓前棘 | Branchiostegal spine |
| 4 長節 | Merus | a 第一觸角柄・第一節 | 1st segment of antennular peduncle | 31 翼角・前側角 | Pterygostomial angle |
| 5 指節 | Dactylus | b 第一觸角外鞭 | Outer flagellum of antennule | 32 肝上棘 | Hepatic spine |
| 6 前節 | Propodus | 22 第二觸角 | Antenna | 33 腹部附屬肢(游泳肢) | Pleopods (Swimmerets) |
| 7 腕節 | Carpus | 22 第二觸角 | Antenna | | |
| 8 長節 | Merus | a' 第二觸角柄 | Antennular peduncle | 34 尾扇枝 | Uropodus |
| 9 尾節 | Ischium | b' 第二觸角鞭 | Antennal flagellum | 35 尾節 | Telson |
| 10 基底節 | Basis | 23 眼球・角膜 | Cornea | 36 尾扇 | Tail fan |
| 11 底節 | Coxa | 24 眼柄 | Ocular peduncle | 37 腹部側甲 | Abdominal pleuron |
| 12 額區 | Frontal region | 25 眼上棘 | Supraorbital spine | Carapace | 頭胸甲 |
| 13 額區 | Orbital region | 26 眼側棘 | Extraorbital spine | Chela | 鉗 |
| 14 肝臟 | Hepatic region | | | Subchela | 擬鉗 |
| 15 心臟 | Cardiac region | | | Jointed carpus | 分節腕 |
| 16 心腔 | Branchial region | | | | |
| 17 胃 | Gastric region | | | | |

形態 體ハきちん質ノ甲ニテ被ハレ多數ノ節ヨリナリ雌雄異體ナリ。體軀ハ頭胸部14節、腹部7節ヨリ成リ、頭胸部ハ頭胸甲ト稱スル強大ナル1甲ニテ被ハル。同甲前縁ノ正中部分ハ前方ニ突出シテ額角ヲ形成スルヲ普通ナリトス。尙同甲ニハ眼上棘・觸角上棘・鰓前棘・肝上棘等ヲ具ヘ、頭溝其ノ他ノ溝ヲ有スルコトアリ。腹部ハ筋肉ヨク發達シ各節獨立セル甲ニテ被ハレ互ニ關節シテ自由ニ屈伸ス。第二腹節側甲ハ前後ニ擴リテ、第一及ビ第三腹節側甲ノ一部ヲ被覆セル類ト然ラザル類トアリ。第七腹節ハ特ニ尾節ト稱ス。各體節ハ夫々1對ノ附屬肢ヲ有スルヲ原則トス。附屬肢ハ内外ノ2肢ヨリナルヲ基本的ナリトスルモ、種類ニ依リテ異ルハ勿論、其ノ機能ノ異ルニ從ツテ特殊ナル形態ヲ呈シ、夫々固有ノ名稱ヲ有ス。前方ノモノヨリ順擧スレバ頭胸部ニハ眼(眼ヲ附屬肢トシテ取扱フ事ニ就テハ説一定セズ)・第一觸角・第二觸角・大顎・第一小顎・第二小顎・第一顎脚・第二顎脚・第三顎脚・第一胸脚～第五胸脚アリ。腹部ニ於テハ尾節ヲ除キ各節ニ游泳肢ヲ具フルヲ通則トシ、殊ニ第六腹節ノ夫ハ著シク發達シテ尾節ト共ニ尾扇ヲ形成ス。眼ハ成體ニアリテハ普通1對ノ複眼ナルモ深海性ノ蝦ニテハ時ニ全く之ヲ缺クモノアリ。一般ニ眼柄ヲ有スルモテつばうえび類ニテハ之ヲ缺キ而モ眼ハ全く頭胸甲下ニ埋没セルモノ多シ。第一觸角ハ3節ヨリナル柄部ヲ有シ、柄部ノ基節ニハ平衡胞アリ、末節ニハ普通内外ノ2鞭狀部ヲ具ヘ内鞭ハ更ニ2鞭ニ分岐